

里親調査用 質問紙

養育不調の要因を検討するためのアンケート

こども家庭庁

令和 5 年度こども家庭科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

同意説明文書をお読みの上、本調査へご協力いただける場合は
下記のチェックボックスにレ点チェックをご記入ください。

私は同意説明文書を読み、この研究に参加することに同意いたします。 ☐

回答日： 年 月 日

ご記入の注意点

1. 本質問紙は自治体を通して、里親登録されている全ての里親家庭に配布させていただいております。
2. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育の不調(委託された子どもへの対応が困難になること)があり、委託解除を経験された里親の方は、そのお子さんについてお答えください。一家庭に一部の質問紙を配布させていただいております。養育不調となったお子さん 1 名について本質問紙でお答えください。養育不調を経験されたお子さんが複数いらっしゃる場合は、seiiku-research@ncchd.go.jp にお名前とご住所、必要数をお知らせいただければ人数分の質問紙を郵送いたします。もしくは、質問紙データ (PDF ファイル) を送付いたしますので、印刷いただきご回答いただいても結構です。本紙を人数分コピーしてご使用いただいても結構です。但し、コピーや印刷代金をご回答いただいた方の負担になりますので、予めご了承ください。
3. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育の不調による委託解除を経験されていない里親の方は、その間に養育をされているお子さんの中で一番長く養育している(していた)お子さんについてお答えください。
4. 原則として委託されたお子さんのことをよくわかっていて、里親登録をされている方お一人がご記入ください。回答について里親登録されているご家族間でご相談していただいても結構です。
5. 無記名の調査のため、お名前など個人が特定できるものは記入しないでください。本調査への協力は自由意志によるものです。協力をしないことで被る不利益はありません。上記チェックボックスへの記入をもって本調査への協力の同意したこととさせていただきます。
6. 回答の方法は、それぞれの質問に従って回答してください。
7. 時間は 15 分程度かかります。できるだけすべての質問にお答えください。ただし、答えたくない質問につきましては、お答えいただかなくて結構です。
8. 本調査は、令和 5 年度 こども家庭科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業・課題名『児童養護施設等や里親家庭における養育の不調の要因分析に資する研究』にて行っております。その他、本データは社会的養育に関する子どもの最善の利益を検討するための研究に関して使用される場合があります。

I. ご記入者について・ご家族の動機について

1. この用紙のご記入者はどなたですか。

里母 ・ 里父 ・ その他 ()

2. 里親として初めてお子さんを委託されてから、今までの期間をお聞かせください。

(年 ヶ月)

3. 里親になろうと思われた動機や経緯について当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

- 1: 実子がおらず、子どもを育てたいと思ったから
- 2: 子どもが欲しかったため(養子の希望あり)
- 3: 社会的養護の必要な子どものためになりたかったため
- 4: 実子にきょうだいを作ってあげたかったため
- 5: 不妊治療をやめることになったため
- 6: 里親養育を行うことにともなう社会的評価があると思ったため
- 7: 自分の子ども時代に逆境的体験(虐待、貧困など)があり、保護された子どもにはそのような体験をさせたくないから
- 8: 実子の子育てはひと段落をしたが、もっと子育てをしたい
- 9: お子さんが事故や病気等で亡くなられたため
- 10: 実子の子育て中だが、もっと子どもを育てたい
- 11: 児童福祉施設や児童福祉の機関などに勤めていた(あるいは現在も務めている)経験が役に立つ
- 12: 親族の子どもが社会的養護を受けることになったため、自分が育てようと思った

4. その他動機等について特筆する事柄がありましたらお書きください。

II. 養育不調(委託されたお子さんへの対応が困難になること)による委託解除のご経験について

1. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育不調による委託解除を経験したことはありますか?

(あり ・ なし) ありの場合⇒ _____ 人

⇒ 一家庭に一部の質問紙を配布させていただいています。養育不調となったお子さん 1 名について本質問紙でお答えください。養育不調を経験されたお子さんが複数人いらっしゃる場合は、 seiiku-research@ncchd.go.jp にお名前とご住所、必要数をお知らせいただければ人数分の質問紙を郵送いたします。もしくは、質問紙データ(PDF ファイル)を送付いたしますので、印刷いただきご回答いただいても結構です。本紙を人数分コピーしてご使用いただいても結構です。但し、コピーや印刷代金は、ご回答いただいた方の負担になりますので、予めご了承ください。

養育の不調による委託解除を経験されていない里親の方は、2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育をされているお子さんの中で一番長く養育している(していた)お子さんについて、p.3 IIIからお答えください。

③Aさんの実家族のきょうだい・しまいはいますか (いる ・ いない)

いる場合

1人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

2人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

3人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

4人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

6. Aさんが委託されたのちに、家族に心身の変調などがあり、病院を受診したことがありましたか？

はい ・ いいえ

はいの場合 それはどなたですか？(複数回答可)

里母 ・ 里父 ・ 実子 ・ その他の里子 ・ その他:()

IV. Aさんについてわかる範囲でお答えください ※児童相談所に改めての問い合わせを行わないで結構です

1. Aさんの児童相談所による保護の理由について当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

- | | | | | |
|--------------|------------------|------------------|----------------|------------|
| 1: 保護者の死亡 | 2: 保護者の行方不明 | 3: 父母の離婚 | 4: 父母の未婚 | 5: 父母の不和 |
| 6: 保護者の拘禁 | 7: 保護者の入院 | 8: 家族の疾病の付き添い | 9: 次子出産 | 10: 保護者の就労 |
| 11: 保護者の精神疾患 | 12: 保護者の放任もしくは怠惰 | 13: 父の虐待もしくは酷使 | 14: 母の虐待もしくは酷使 | 15: 棄児 |
| 16: 養育拒否 | 17: 破産等の経済的理由 | 18: 児童の問題による監護困難 | 19: 児童の障害 | |
| 20: その他 () | | | | 21: 不詳 |

2. Aさんの虐待の被害について当てはまるものに○をつけてください。

虐待被害 (あり ・ なし ・ 不詳)

ありの場合その種類 (複数回答可)

(身体的虐待 ・ ネグレクト ・ 性的虐待 ・ 心理的虐待)

3. Aさんの心身の状況について医学的な診断を受けたことがありますか？

医師による医学的診断 (あり ・ なし ・ 不詳)

医学的診断が「あり」の場合、その内容について当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

- | | | | | |
|-------------------|-------------------------|----------------------|----------------|-------------------------|
| 1: 身体虚弱 | 2: 肢体不自由 | 3: 視覚障害 | 4: 聴覚障害 | 5: 言語障害 |
| 6: 知的障害 | 7: てんかん | 8: 心的外傷後ストレス障害（PTSD） | 9: 反応性
愛着障害 | 10: 注意欠陥多動性
障害（ADHD） |
| 11: 学習障害
（LD） | 12: 自閉スペクトラム
障害（ASD） | 13: 高次脳機能障害 | 14: チック | 15: 吃音症 |
| 16: 発達性
協調運動障害 | 17: その他（

） | | | |

4. Aさんの知能検査・発達検査について覚えている範囲でお答えください

※児童相談所に改めての問い合わせを行わないで結構です

知能検査を受けましたか？

(はい ・ いいえ ・ 不詳)

* 「はい」にお答えの方は以下にご回答ください。

- ① WISC-IVもしくはV (検査実施年月: 年 月)

全検査 IQ (FSIQ) (当てはまるところに○をつけてください。)

51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

- ②田中ビネー知能検査Ⅴ（検査実施年月： 年 月）

IQ 値（当てはまるところに○をつけてください。）

51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

- ③新版 K 式発達検査 (検査実施年月: 年 月)

発達指数（当てはまるところに○をつけてください。）

41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

V. Aさんの行動上の問題

- ・2021年4月から2023年12月末までに養育不調による委託解除を経験された方

委託解除となった頃の A さんの様子についてお答えください。

Aさんの委託解除時の年齢が

- ① 生後6ヶ月～2歳未満 → p6～p7 緑色の質問票

- ② 2歳～6歳（就学前） → p8～p11 黄色の質問票

- ③ 6歳(小学1年生以上)～18歳 → p12～p14 青色の質問票

- ・養育不調による委託解除を経験されていない方

2021 年 4 月から 2023 年 12 月末の間で最も長く養育している（していた）A さんの様子についてお答えくだ
さい。

Aさんの現在の年齢が

- ① 生後6ヶ月～2歳未満 → p6～p7 緑色の質問票

- ② 2歳～6歳（就学前） → p8～p11 黄色の質問票

- ③ 6歳(小学1年生以上)～18歳 →p12～p14 青色の質問票

※質問項目の「親」とは主たる養育者を意味し、里親やファミリーホームの養育者を指します。

① 生後 6 カ月～2 歳未満

A さんに以下のような状況が見られますか？

年齢的にまだできないと思われる事柄については「年齢的に不可能」とお答えください。

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
1. ある特定の状況で、急に激しく泣くなど表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2. 些細なことでびくびくして不安そうにする	1	2	3	4	n
3. 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4. 普通以上に怖がる特定の人や物や場面がある	1	2	3	4	n
5. 夜泣きが激しい	1	2	3	4	n
6. 感情の起伏が激しい	1	2	3	4	n
7. ひとりで遊んでいることが多い	1	2	3	4	n

A さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
8. 表情が乏しい	1	2	3	4	n
9. 大人と関わろうとしない	1	2	3	4	n
10. 親に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
11. 生き生きとしている	1	2	3	4	n
12. 友だちと仲良く遊ぶ	1	2	3	4	n
13. 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14. ちょっとしたことでも怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
15. 親に抱かれていても、遠くをボーっと見ている	1	2	3	4	n
16. 突然固まって、ぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
17. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n

① 生後 6 カ月～2 歳未満

18. いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
19. 遊びに集中できない	1	2	3	4	n
20. 悲しそうにしている	1	2	3	4	n
21. 笑顔が少ない	1	2	3	4	n
22. 凍り付いた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
23. 大人がいても自分で危険な行動をとる	1	2	3	4	n

A さんに次のようなことはありますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
24. 人のものをとったりする	1	2	3	4	n
25. ぐずることが多い	1	2	3	4	n
26. 床や壁に自分の頭を打ち付けることがある	1	2	3	4	n
27. すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n

P15 「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

② 2歳～6歳（就学前）

Aさんに以下のような状況が見られますか？

年齢的にまだできないと思われる事柄については「年齢的に不可能」とお答えください。

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
1. ある特定の状況で、急に激しく泣くなど表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2. ある特定の状況で、こちらとかかわらなくなってポーっとしていることがある	1	2	3	4	n
3. 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4. 親が「出来ていた」と言うことでもできなくなっていることがある	1	2	3	4	n
5. 寝つきが悪い	1	2	3	4	n
6. 周囲に対して攻撃的である	1	2	3	4	n

Aさんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
7. 表情が乏しい	1	2	3	4	n
8. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、親に近づいて慰めを求めようとせず、固まってしまう	1	2	3	4	n
9. 親に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
10. 危ないことを平気でする	1	2	3	4	n
11. 表情が明るい	1	2	3	4	n
12. 親の言うことを素直に聞く	1	2	3	4	n
13. 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14. すぐに親またはそれに代わる大人（最もなついている大人）に頼る	1	2	3	4	n
15. 依存心が強い	1	2	3	4	n
16. 大人に気に入られようと可愛い子ぶる	1	2	3	4	n
17. 誰にでもべたべたしてくる	1	2	3	4	n
18. ちょっとしたことでも怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）					
19. 親に抱かれていても、遠くをボーっと見ている	1	2	3	4	n
20. 突然固まってぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
21. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n
22. 親を困らせるような行動を多くとる	1	2	3	4	n
23. 過度に警戒している	1	2	3	4	n
24. 常に緊張している	1	2	3	4	n
25. いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
26. 遊びに集中できない	1	2	3	4	n
27. 悲しそうにしている	1	2	3	4	n
28. 笑顔が少ない	1	2	3	4	n
29. 年齢不相応に動きが少ない	1	2	3	4	n
30. 凍り付いた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
31. 目を合わせて笑いあうことが少ない	1	2	3	4	n
32. 自分から甘えてくることが少ない	1	2	3	4	n
33. 甘え方が下手である	1	2	3	4	n
34. 次々に別の大人を求める	1	2	3	4	n
35. 視線を合わせることが少ない	1	2	3	4	n
36. ちょっとしたことでも固まってしまう	1	2	3	4	n
37. 親またはそれに代わる大人（最もなついている大人）を求めてくるがすぐに他へ向かう	1	2	3	4	n
38. 親またはそれに代わる大人（最もなついている大人）を求めていながら、ちょっとした事で避けてしまう	1	2	3	4	n
39. ひとりの大人と集中して遊べない	1	2	3	4	n
40. 特定の大人との強いかわりができない	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）

Aさんに次のようなことはありますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
41. 人のものをとったりする	1	2	3	4	n
42. 友達と仲良く遊ぶ	1	2	3	4	n
43. 気分や感情が急に変わる	1	2	3	4	n
44. ミルクや食事の量や速度にムラがある	1	2	3	4	n
45. 活動が激しい時と遅い（おとなしい）時があり、一定しない	1	2	3	4	n
46. 興奮するととめることが出来ない	1	2	3	4	n
47. 気に入らないと通常以上に激しく泣く	1	2	3	4	n
48. 泣き出すとなかなか止まらない	1	2	3	4	n
49. ぐずることが多い	1	2	3	4	n
50. かんしゃくが多い	1	2	3	4	n
51. かっとなると暴力的になる	1	2	3	4	n
52. 一つの行動から他の行動への切り替えがうまくいかない	1	2	3	4	n
53. 大きな音を怖がる	1	2	3	4	n
54. 大きな声で話す傾向がある	1	2	3	4	n
55. 注射などを極端に嫌がる	1	2	3	4	n
56. 転びやすい	1	2	3	4	n
57. 不安定な場所を好む	1	2	3	4	n
58. ボール投げが年齢相応に出来ない	1	2	3	4	n
59. 危険を顧みず、高いところに上ったり、飛び降りたりする	1	2	3	4	n
60. すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n
61. 他人をもののように扱う	1	2	3	4	n
62. その場にあったことと表情が一致していない	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）					
63. 友だちにやさしい	1	2	3	4	n
64. ルールが守れない	1	2	3	4	n
65. よくけんかをする	1	2	3	4	n
66. 友だちに暴力を振るう	1	2	3	4	n
67. 人のものをもって自分のテリトリーにためておく	1	2	3	4	n
68. 小さい子に暴力を振るう	1	2	3	4	n
69. 大人の言うことにことごとく反抗する	1	2	3	4	n
70. 他の子をいじめる	1	2	3	4	n
71. 力の強い子に支配されやすい	1	2	3	4	n
72. 想像力が豊かである	1	2	3	4	n
73. 力の強い人と弱い人に対する態度が全く違う	1	2	3	4	n
74. 年齢不相応に性的な言葉を発する	1	2	3	4	n
75. 汚い言葉を多用する	1	2	3	4	n
76. ものの扱いが乱雑である	1	2	3	4	n
77. 非常に衝動的な行動をする	1	2	3	4	n
78. ストーリーのある遊びができる	1	2	3	4	n
79. 集中力がない	1	2	3	4	n
80. 遊びが次々に変わる	1	2	3	4	n
81. ままごとを楽しくできる	1	2	3	4	n

P15 「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

③ 6 歳（小学 1 年生）～18 歳

A さんの様子を思い浮かべながら、すべての質問項目に答えてください。

	あてはまらない	どちらかといえばあてはまらない	どちらかといえばあてはまる	あてはまる
1. 里親などの大人の怒りをかうような言動が見られる	0	1	2	3
2. 遊びや趣味などで夢中になれるものがない	0	1	2	3
3. 放火や弄火（火遊び）がある	0	1	2	3
4. パニックを起こしたときなどに自分の持ち物を破いたり壊したりする	0	1	2	3
5. 大人や年長者に対して挑発的な態度をとる	0	1	2	3
6. 悲しいときに無表情である	0	1	2	3
7. 学用品などの物をよくなくす	0	1	2	3
8. イライラする	0	1	2	3
9. 大暴れして物を壊したり、人に殴りかかったりするなどのいわゆる「パニック状態」になる	0	1	2	3
10. 他の子と年齢に不相応な性的かわりがある	0	1	2	3
11. かつあげをしている	0	1	2	3
12. 落ち着きがない	0	1	2	3
13. 自分を誇示するような言動がある	0	1	2	3
14. カッターで腕を切るなどのセルフカット（リストカット）がある	0	1	2	3
15. この子が身体接触を求めてくるとき、どこか「性的ニュアンス」を感じる	0	1	2	3
16. 年少の子どもに対して、威圧的な態度をとる	0	1	2	3
17. 将来の夢がまったく持てない	0	1	2	3
18. 万引きする	0	1	2	3
19. 「どうせ自分なんか・・・」などと、自己を卑下したようなことを言う	0	1	2	3
20. 食べ物に執着する	0	1	2	3

③ 6 歳（小学 1 年生）～18 歳				
21. 否定的な感情の表現（悲しい、腹が立つなど）がない	0	1	2	3
22. 何事につけても自信がない	0	1	2	3
23. 興奮したときに自分の頭を壁にぶつけるなど、自分の身体を痛めつける行為をする	0	1	2	3
24. 悪夢を見る	0	1	2	3
25. 生まれてこなければよかったなどと口にする	0	1	2	3
26. 「どうせ大人は～」と、大人への不信感を口にする	0	1	2	3
27. 自分で自分の体を殴る	0	1	2	3
28. 常におやつを求めている	0	1	2	3
29. 喫煙する	0	1	2	3
30. 朝起きられない	0	1	2	3
31. スポーツや趣味で得意だったり、自信を持っていることがない	0	1	2	3
32. 他の子と性的な遊びをする	0	1	2	3
33. 多動でじっとしていることができない	0	1	2	3
34. 感情が表情に現れない	0	1	2	3
35. 里親や他の子どもからの金品の持ち出しがある	0	1	2	3
36. 「死にたい」ともらす	0	1	2	3
37. 大人の心を傷つける言動がある	0	1	2	3
38. 異性の身体にベタベタ触れたがる	0	1	2	3
39. 不登校の傾向がある	0	1	2	3
40. 泣かない	0	1	2	3
41. 強者に対する態度と弱者に対する態度が極端に異なる	0	1	2	3
42. 学校で居眠りをしている	0	1	2	3
43. 過食がある	0	1	2	3
44. 年齢に比べて性的な事柄に対する関心が高い	0	1	2	3

③ 6 歳（小学 1 年生）～18 歳				
45. 無断欠席が多い	0	1	2	3
46. 肯定的な感情の表現（うれしい、たのしいなど）がない	0	1	2	3
47. 大人に対して反抗的な態度を示す	0	1	2	3
48. 大量に服薬する	0	1	2	3
49. 昼夜逆転である	0	1	2	3
50. 人の神経を逆なでする	0	1	2	3
51. 衝動的に行動してしまう	0	1	2	3
52. 無断外泊がある	0	1	2	3
53. 勉強で何か得意な分野や自信を持っているものがまったくない	0	1	2	3
54. 怒りをもつと大暴れをする	0	1	2	3
55. 注意の集中が出来ない	0	1	2	3

次のページの「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

Ⅵ. 養育の状況について

1. A さんへの養育の状況について思い返してお答えください。

養育の状況	養育に 関係な かった	あては まらない	ややあ てはま らない	ややあ てはま る	あては まる
1. A さんの実親・実家族への思いについて扱うことが難しかった	0	1	2	3	4
2. 保護され社会的養護のもとで暮らすことになったことに関する経緯や現在の実家族の状況・事実を扱うことが難しかった	0	1	2	3	4
3. 家庭全体で協力し合いながら養育にあたっていた	0	1	2	3	4
4. A さんのために生活のルールを変更することが難しかった	0	1	2	3	4
5. A さんと里親家庭ですでに暮らしていた実子やその他の委託されている子どもの間の喧嘩への対応が難しかった	0	1	2	3	4
6. もともとあった問題が思春期になって大きくなったことで対応が難しかった	0	1	2	3	4
7. 話をしてくれないことに対応が難しかった	0	1	2	3	4
8. 養育に関して児童相談所や他の家族、学校の先生からの評価を気にせず、A さんの発達水準に合った養育を行うことができた	0	1	2	3	4
9. A さんの国籍が海外で文化的、宗教的多様性に対応することが難しかった	0	1	2	3	4
10. 行動上の問題が生じる背景について考えることができていた	0	1	2	3	4
11. 里親家族、児童相談所、支援機関、A さんの家族、友人、学校、地域など含め「みんなで育てる」という意識を持つことができていた	0	1	2	3	4
12. プロ意識をもって養育に当たることができていた	0	1	2	3	4
13. A さんのことをかわいく感じていた	0	1	2	3	4
14. A さんに良い変化を感じる事ができていた	0	1	2	3	4
15. A さんの問題に里親が精神的に耐えることが難しかった	0	1	2	3	4
16. A さんの発達水準に合わせた養育を行うことができていた	0	1	2	3	4

17. Aさんと信頼関係を築くことができていた	0	1	2	3	4
18. Aさんの感情表現を受容することができていた	0	1	2	3	4
19. 行動上の問題に対応することが難しかった (行動上の問題とは…当てはまるものに全て○をしてください：暴力・粗暴な物言い・盗み・非行・家に帰ってこない・物を壊す・性的問題行動・その他())	0	1	2	3	4
20. Aさんのセクシャリティ（性的あり方、LGBTQ：レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、性自認が決まっていない）への対応が難しかった	0	1	2	3	4
21. Aさんに家族のメンバーとしての感覚を持ててもらうことができていた	0	1	2	3	4
22. Aさんが将来的に18歳もしくは成人になり、委託解除後にどのように支援していけばいいのかわからなかった	0	1	2	3	4
23. Aさんの成育歴についてわからない部分があることで、かかわりが難しかった	0	1	2	3	4
24. Aさんの良いところ（能力、性格、魅力等）に着目した養育ができていた	0	1	2	3	4
25. Aさんの情緒不安定への対応が難しかった	0	1	2	3	4
26. 学校や幼稚園、保育園への登校（園）拒否への対応が難しかった	0	1	2	3	4
27. Aさんと実親の交流を維持させることが難しかった	0	1	2	3	4
28. 進路に関する問題に対応することが難しかった	0	1	2	3	4
29. 定期的に養育に関する研修を受けていた	0	1	2	3	4
30. 里親や里親家族の急な事情（病気・介護・転勤・離婚など）のためにAさんへの養育が難しかった	0	1	2	3	4
31. 学習の支援が難しかった	0	1	2	3	4

2. その他、養育上の課題がありましたらお書きください。

Ⅶ. A さんについて児童相談所の支援の状況について当てはまることについてお答えください。

1. A さんは、児童相談所からの定期的な支援を受けていましたか？

(定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった)

受けていた方は、該当する支援に○をつけて期間と頻度をお答えください（複数回答可）

1: 療育	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回
2: カウンセリング	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回
3: プレイセラピー	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回
4: 薬物療法	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回
5: その他（内容：)	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回

2. 里親さんは、児童相談所から A さんについての定期的な支援を受けていましたか？

(定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった)

受けていた方は、該当する支援に○をつけて期間と頻度をお答えください（複数回答可）

1: ペアレントトレーニング	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回
2: 養育相談	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回
3: 里親のカウンセリング	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回
4: その他（内容：)	期間：A さん () 歳～ () 歳	頻度：月に () 回

3. その他、児童相談所の支援の状況についてお答えください（定期的に支援を受けていなかったとしても児童相談所とのこれまでの関わりについてお答えください）。

児童相談所の支援の状況	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1. 里親家庭の事情について理解しようとしていた	0	1	2	3
2. A さんについて児童相談所職員が専門性のある支援をしていた	0	1	2	3
3. A さんについて児童相談所職員に相談をしても急に委託解除されることはなかった	0	1	2	3
4. A さんについて児童相談所職員と話し合い相互理解のもと方針を立てることができていた	0	1	2	3
5. 児童相談所職員と里親が協働して自立支援計画の作成をすることができていた	0	1	2	3
6. 児童相談所職員は支援のために十分に家庭訪問を行っていた	0	1	2	3
7. 児童相談所職員は具体的な援助に関する助言をしていた	0	1	2	3
8. 児童相談所職員は A さんと良好な関係を築くことができていた	0	1	2	3
9. 児童相談所職員は A さんや里親との相談のために十分に時間を取っていた	0	1	2	3
10. 児童相談所職員同士で A さんについて情報共有ができていた	0	1	2	3

Ⅷ. A さんについて民間フォスタリング機関等（里親支援専門相談員、児童家庭支援センター等の支援含む）の支援の状況について当てはまるものをお答えください。

1. A さんは、民間フォスタリング機関等からの定期的な支援を受けていましたか？

（ 定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった ）

受けていた方は、該当する支援に○をつけて期間と頻度をお答えください（複数回答可）

1: 療育	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回
2: カウンセリング	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回
3: プレイセラピー	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回
4: 薬物療法	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回
5: その他（内容： ）	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回

2. 里親さんは、民間フォスタリング機関等からの A さんについての定期的な支援を受けていましたか？

（ 定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった ）

受けていた方は、該当する支援に○をつけて期間と頻度をお答えください（複数回答可）

1: ペアレントトレーニング	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回
2: 養育相談	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回
3: 里親のカウンセリング	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回
4: その他（内容： ）	期間：A さん（ ）歳～（ ）歳	頻度：月に（ ）回

3. A さんについて民間フォスタリング機関等からの支援を受けていたことがある方は以下の支援の状況についてお答えください（受けていなかった方は、P20 の区へ）。

民間フォスタリング機関等の支援の状況	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1. 里親家庭の事情について理解しようとしていた	0	1	2	3
2. A さんについて民間フォスタリング機関等職員が専門性のある支援をしていた	0	1	2	3
3. A さんについて民間フォスタリング機関等職員に相談をしても急に委託解除されることはなかった	0	1	2	3
4. A さんについて民間フォスタリング機関等職員と話し合い相互理解のもと方針を立てることができた	0	1	2	3
5. 民間フォスタリング機関等職員と里親が協力して自立支援計画の作成をすることができていた	0	1	2	3
6. 民間フォスタリング機関等職員は支援のために十分に家庭訪問を行っていた	0	1	2	3
7. 民間フォスタリング等機関職員は具体的な援助に関する助言をしていた	0	1	2	3
8. 民間フォスタリング機関等職員は A さんと良好な関係を築くことができていた	0	1	2	3
9. 民間フォスタリング機関等職員は A さんと里親の相談のために十分に時間を取っていた	0	1	2	3
10. 民間フォスタリング機関等職員同士で情報共有ができていた	0	1	2	3

Ⅸ. A さんに対するその他の支援と里親への支援

1. A さんが定期的に支援を受けていた機関はありましたか？ (はい ・ いいえ)

「はい」の場合、支援を受けていた機関すべてに○をしてください。

1: 子ども家庭総合支援拠点	2: 教育相談機関 (教育相談所等)	3: 公立教育センター
4: 児童精神科	5: 小児科	6: 児童発達支援事業所
7: 放課後等デイサービス	8: 児童発達支援センター	9: 学校のスクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー
10: 里親会		
11: その他 (自由記述)		

2. A さんについて定期的に里親自身が支援を受けていた機関はありましたか？ (はい ・ いいえ)

「はい」の場合、支援を受けていた機関すべてに○をしてください。

1: 子ども家庭総合支援拠点	2: 教育相談機関 (教育相談所等)	3: 公立教育センター
4: 児童精神科	5: 小児科	6: 児童発達支援事業所
7: 放課後等デイサービス	8: 児童発達支援センター	9: 学校のスクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー
10: 里親会		
11: その他 (自由記述)		

これでアンケートは終了です。この冊子のみ返送用封筒に入れて、ご返送ください。

その他の同封書類は、ご不要の場合は破棄していただいて結構です。

お忙しい中ご協力ありがとうございました。

ファミリーホーム調査用 質問紙

養育不調の要因を検討するためのアンケート

こども家庭庁 令和 5 年度こども家庭科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

同意説明文書をお読みの上、本調査へご協力いただける場合は
下記のチェックボックスにレ点チェックをご記入ください。

私は同意説明文書を読み、この研究に参加することに同意いたします。 ☐

回答日： 年 月 日

ご記入の注意点

1. 本質問紙は全国で運営されている全てのファミリーホームに配布させていただいております。
2. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに貴ファミリーホームにて養育の不調(委託された子どもへの対応が困難になること)があり、委託解除されたことがある場合は、そのお子さんについてお答えください。養育不調による委託解除を経験されたお子さんが複数人いらっしゃる場合は、フォームの指示に従い複数人分お答えください。
3. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までにファミリーホームとして養育の不調による委託解除を経験されていない養育者の方は、これまで養育をされているお子さんの中で一番長く養育している(していた)お子さんについてお答えください。
4. 原則として委託されたお子さんのことをよくわかっていて、養育をされていた方お一人がご記入ください。回答についてファミリーホームを運営されている養育者間でご相談していただいても結構です。
5. 無記名の調査のため、お名前など個人が特定できるものは記入しないでください。本調査への協力は自由意志によるものです。ご回答いただかないことで被る不利益はありません。ご回答をもって本調査への協力に同意したこととさせていただきます。
6. 回答の方法は、それぞれの質問に従って回答してください。
7. 時間は 15 分程度かかります。できるだけすべての質問にお答えください。ただし、答えたくない質問につきましてはお答えいただかなくて結構です。
8. 本調査は、令和 5 年度 こども家庭科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業・課題名『児童養護施設等や里親家庭における養育の不調の要因分析に資する研究』にて行っております。その他、本データは社会的養育に関する子どもの最善の利益を検討するための研究に関して使用される場合があります。

I. ファミリーホームの運営形態

1. 貴ファミリーホームの経営形態についていずれかに○をしてください。

1. 自営型：里親経験者・児童養護施設等の職員経験者が個人事業主として経営
2. 法人型：社会福祉法人や NPO 法人、一般社団法人が運営母体として経営

2. 貴ファミリーホームの現在の形態についていずれかに○をしてください。

1. 夫婦がそろって専業で養育者となる家庭に補助者 1 名を雇用している
2. 夫婦の内一人がファミリーホーム専業の養育者、もう一人が兼業の養育者となる家庭に、補助者 1～2 名を雇用している
3. 単身の養育者の家庭に複数の補助者を雇用している

3. この用紙のご記入者はどなたですか？

男性の養育者 ・ 女性の養育者 ・
 男性の補助者 ・ 女性の補助者 ・ その他（ ）

4. ご記入者は里親登録をしていますか？

はい ・ いいえ

5. ファミリーホームとして初めてお子さんを委託されてから、今までの期間をお答えください。

（ 年 ヶ月）

6. ファミリーホームを運営しようと思われた動機や経緯について当てはまるものに○をつけてください。 （複数回答可）

- 1: 実子がおらず、子どもを育てたいと思ったから
- 2: 子どもが欲しかったため（養子の希望あり）
- 3: 社会的養護の必要な子どものためになりたかったため
- 4: 実子にきょうだいを作ってあげたかったため
- 5: 不妊治療をやめることになったため
- 6: ファミリーホームを運営することにもなう社会的評価があると思ったため
- 7: 自分の子ども時代に逆境的体験（虐待、貧困など）があり、保護された子どもにはそのような体験をさせたくないから
- 8: 実子の子育てはひと段落をしたが、もっと子育てをしたい
- 9: お子さんが事故や病気等で亡くなられたため
- 10: 実子の子育て中だが、もっと子どもを育てたい
- 11: 児童福祉施設や児童福祉の機関などに勤めていた（あるいは現在も務めている）経験が役に立つ
- 12: 親族の子どもが社会的養護を受けることになったため、自分が育てようと思った

7. その他動機等について特筆する事柄がありましたらお書きください。

Ⅲ. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育不調による委託解除を…

経験した ⇒委託解除となったお子さんを A さんとして以下の質問にお答えください。

経験していない⇒2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育されてきたお子さんの中で一番長く養育している（していた）お子さんを A さんとして以下の質問にお答えください。

1. A さん自身について

- ① 性別（ 男 ・ 女 ）
- ② 委託時のご年齢（ 歳 カ月）
- ③ 委託時の在籍
保育園 ・ 幼稚園 ・ 認定こども園 ・ 小学（ ）年生 ・ 中学（ ）年生 ・ 高校（ ）年生
- ④ 現在のご年齢（ 歳 カ月）
- ⑤ 国籍（ ）

2. A さんを委託された時のファミリーホームについて（委託時の状態をお答えください）

養育者 1 について

- ① ご年齢（ 歳）
- ② 性別（ 男 ・ 女 ）
- ③ お仕事
1: ファミリーホーム専業 2: 正社員 3: 自営業 4: パート・アルバイト等の非正規雇用
5: 無職（専業主夫/婦含む）
- ④ 養育者 2 と夫婦であった（ はい ・ いいえ ）

養育者 2 について

- ① ご年齢（ 歳）
- ② 性別（ 男 ・ 女 ）
- ③ お仕事 1: ファミリーホーム専業 2: 正社員 3: 自営業 4: パート・アルバイト等の非正規雇用
5: 無職（専業主夫/婦を含む）

補助者 1 について

- ① ご年齢（ 歳）
- ② 性別（ 男 ・ 女 ）
- ③ お仕事 1: ファミリーホーム専業 2: 正社員 3: 自営業 4: パート・アルバイト等の非正規雇用
5: 無職（専業主夫/婦を含む）

補助者 2 について

- ① ご年齢（ 歳）
- ② 性別（ 男 ・ 女 ）
- ③ お仕事 1: ファミリーホーム専業 2: 正社員 3: 自営業 4: パート・アルバイト等の非正規雇用
5: 無職（専業主夫/婦を含む）

1: 親族里親	2: 養育里親	3: 専門里親	4: 養子縁組里親	5: 登録していない
---------	---------	---------	-----------	------------

(人)

①同居している養育者のご家族の実子 (いる ・ いない)

いる場合

1人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

2人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

3人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

4人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

②その他に同居のご親族はいますか (いる ・ いない) いるの場合それはどなたですか?
()

③Aさんの実家族のきょうだいしまい (いる ・ いない)

いる場合

1人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

2人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

3人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

4人目: 男 ・ 女 (歳)

在籍: 保育園・幼稚園・認定こども園・小学()年生・中学()年生・高校()年生・学生・社会人・無職

➡ 里親家庭に(同居している ・ 同居していない)

6. Aさんが委託されたのちに、家族に心身の変調などがあり、病院を受診したことがありましたか？

はい ・ いいえ

はいの場合 それはどなたですか？（複数回答可）

養育者 1 ・ 養育者 2 ・ 補助者 1 ・ 補助者 2 ・ 実子 ・ その他の委託された子ども
・ その他：（ ）

IV. Aさんについてわかる範囲でお答えください ※児童相談所に改めての問い合わせを行わないで結構です

1. Aさんの児童相談所による保護の理由について（複数回答可）

- | | | | | |
|--------------|------------------|------------------|----------------|------------|
| 1: 保護者の死亡 | 2: 保護者の行方不明 | 3: 父母の離婚 | 4: 父母の未婚 | 5: 父母の不和 |
| 6: 保護者の拘禁 | 7: 保護者の入院 | 8: 家族の疾病の付き添い | 9: 次子出産 | 10: 保護者の就労 |
| 11: 保護者の精神疾患 | 12: 保護者の放任もしくは怠惰 | 13: 父の虐待もしくは酷使 | 14: 母の虐待もしくは酷使 | 15: 棄児 |
| 16: 養育拒否 | 17: 破産等の経済的理由 | 18: 児童の問題による監護困難 | 19: 児童の障害 | |
| 20: その他（ ） | | | | 21: 不詳 |

2. Aさんの虐待の被害について当てはまるものに○をつけてください。

虐待被害 （ あり ・ なし ・ 不詳 ）

ありの場合その種類（複数選択可）

（ 身体的虐待 ・ ネグレクト ・ 性的虐待 ・ 心理的虐待 ）

3. Aさんの心身の状況について医学的な診断を受けたことがありますか？

医師による医学的診断 （ あり ・ なし ・ 不詳 ）

医学的診断が「あり」の場合、その内容（複数回答可）

- | | | | | |
|---------------|----------------------|-----------------------|------------|----------------------|
| 1: 身体虚弱 | 2: 肢体不自由 | 3: 視覚障害 | 4: 聴覚障害 | 5: 言語障害 |
| 6: 知的障害 | 7: てんかん | 8: 心的外傷後ストレス障害 (PTSD) | 9: 反応性愛着障害 | 10: 注意欠陥多動性障害 (ADHD) |
| 11: 学習障害 (LD) | 12: 自閉スペクトラム障害 (ASD) | 13: 高次脳機能障害 | 14: チック | 15: 吃音症 |
| 16: 発達性協調運動障害 | 17: その他（ ） | | | |

4. Aさんの知能検査・発達検査について覚えている範囲でお答えください

※児童相談所に改めての問い合わせを行わないで結構です

知能検査を受けましたか？

(はい ・ いいえ ・ 不詳)

「はい」にお答えの方は以下に回答ください。

① WISC-IV もしくは V (検査実施年月： 年 月)

全検査 IQ (FSIQ) (当てはまるところに○をつけてください。)

51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

② 田中ビネー知能検査 V (検査実施年月： 年 月)

IQ 値 (当てはまるところに○をつけてください。)

51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

③ 新版 K 式発達検査 (検査実施年月： 年 月)

発達指数 (当てはまるところに○をつけてください。)

41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

V. Aさんの行動上の問題

- ・ 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までの間で養育不調による委託解除を経験された方
委託解除となった頃の A さんの様子についてお答えください。

A さんの委託解除時の年齢が

- | | |
|-----------------------|---------|
| ① 生後 6 ヶ月～2 歳未満 | →緑色の質問票 |
| ② 2 歳～6 歳（就学前） | →黄色の質問票 |
| ③ 6 歳（小学 1 年生以上）～18 歳 | →青色の質問票 |

- ・ 養育不調による委託解除を経験されていない方

2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までの間で最も長く養育している（していた）A さんの様子についてお答えください。

A さんの現在の年齢が

- | | |
|-----------------------|---------|
| ① 生後 6 ヶ月～2 歳未満 | →緑色の質問票 |
| ② 2 歳～6 歳（就学前） | →黄色の質問票 |
| ③ 6 歳（小学 1 年生以上）～18 歳 | →青色の質問票 |

※質問項目の「親」とは主たる養育者を意味し、里親やファミリーホームの養育者を指します。

① 生後 6 カ月～2 歳

A さんに以下のような状況が見られますか？

年齢的にまだできないと思われる事柄については「年齢的に不可能」とお答えください。

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
1. ある特定の状況で、急に激しく泣くなど表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2. 些細なことでびくびくして不安そうにする	1	2	3	4	n
3. 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4. 普通以上に怖がる特定の人や物や場面がある	1	2	3	4	n
5. 夜泣きが激しい	1	2	3	4	n
6. 感情の起伏が激しい	1	2	3	4	n
7. ひとりで遊んでいることが多い	1	2	3	4	n

A さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
8. 表情が乏しい	1	2	3	4	n
9. 大人と関わろうとしない	1	2	3	4	n
10. 親に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
11. 生き生きとしている	1	2	3	4	n
12. 友だちと仲良く遊ぶ	1	2	3	4	n
13. 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14. ちょっとしたことでも怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
15. 親に抱かれていても、遠くをボーっと見ている	1	2	3	4	n
16. 突然固まって、ぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
17. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n

① 生後 6 カ月～2 歳					
18. いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
19. 遊びに集中できない	1	2	3	4	n
20. 悲しそうにしている	1	2	3	4	n
21. 笑顔が少ない	1	2	3	4	n
22. 凍り付いた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
23. 大人がいても自分で危険な行動をとる	1	2	3	4	n

A さんに次のようなことはありますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
24. 人のものをとったりする	1	2	3	4	n
25. ぐずることが多い	1	2	3	4	n
26. 床や壁に自分の頭を打ち付けることがある	1	2	3	4	n
27. すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n

「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

② 2歳～6歳（就学前）

Aさんに以下のような状況が見られますか？

年齢的にまだできないと思われる事柄については「年齢的に不可能」とお答えください。

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
1. ある特定の状況で、急に激しく泣くなど表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2. ある特定の状況で、こちらとかかわらなくなってポーっとしていることがある	1	2	3	4	n
3. 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4. 親が「出来ていた」と言うことでもできなくなっていることがある	1	2	3	4	n
5. 寝つきが悪い	1	2	3	4	n
6. 周囲に対して攻撃的である	1	2	3	4	n

Aさんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
7. 表情が乏しい	1	2	3	4	n
8. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、親に近づいて慰めを求めようとせず、固まってしまう	1	2	3	4	n
9. 親に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
10. 危ないことを平気でする	1	2	3	4	n
11. 表情が明るい	1	2	3	4	n
12. 親の言うことを素直に聞く	1	2	3	4	n
13. 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14. すぐに親またはそれに代わる人（最もなついている大人）に頼る	1	2	3	4	n
15. 依存心が強い	1	2	3	4	n
16. 大人に気に入られようと可愛い子ぶる	1	2	3	4	n
17. 誰にでもべたべたしてくる	1	2	3	4	n
18. ちょっとしたことでは怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）					
19. 親に抱かれていても、遠くをボーっと見ている	1	2	3	4	n
20. 突然固まってぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
21. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n
22. 親を困らせるような行動を多くとる	1	2	3	4	n
23. 過度に警戒している	1	2	3	4	n
24. 常に緊張している	1	2	3	4	n
25. いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
26. 遊びに集中できない	1	2	3	4	n
27. 悲しそうにしている	1	2	3	4	n
28. 笑顔が少ない	1	2	3	4	n
29. 年齢不相応に動きが少ない	1	2	3	4	n
30. 凍り付いた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
31. 目を合わせて笑いあうことが少ない	1	2	3	4	n
32. 自分から甘えてくることが少ない	1	2	3	4	n
33. 甘え方が下手である	1	2	3	4	n
34. 次々に別の大人を求める	1	2	3	4	n
35. 視線を合わせる事が少ない	1	2	3	4	n
36. ちょっとしたことで固まってしまう	1	2	3	4	n
37. 親またはそれに代わる大人（最もなついている大人）を求めてくるがすぐに他へ向かう	1	2	3	4	n
38. 親またはそれに代わる大人（最もなついている大人）を求めていながら、ちょっとした事で避けてしまう	1	2	3	4	n
39. ひとりの大人と集中して遊べない	1	2	3	4	n
40. 特定の大人との強いかわりかかわりができない	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）

Aさんに次のようなことはありますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
41. 人のものをとったりする	1	2	3	4	n
42. 友達と仲良く遊ぶ	1	2	3	4	n
43. 気分や感情が急に変わる	1	2	3	4	n
44. ミルクや食事の量や速度にムラがある	1	2	3	4	n
45. 活動が激しい時と遅い（おとなしい）時があり、一定しない	1	2	3	4	n
46. 興奮するととめることが出来ない	1	2	3	4	n
47. 気に入らないと通常以上に激しく泣く	1	2	3	4	n
48. 泣き出すとなかなか止まらない	1	2	3	4	n
49. ぐずることが多い	1	2	3	4	n
50. かんしゃくが多い	1	2	3	4	n
51. かっとなると暴力的になる	1	2	3	4	n
52. 一つの行動から他の行動への切り替えがうまくいかない	1	2	3	4	n
53. 大きな音を怖がる	1	2	3	4	n
54. 大きな声で話す傾向がある	1	2	3	4	n
55. 注射などを極端に嫌がる	1	2	3	4	n
56. 転びやすい	1	2	3	4	n
57. 不安定な場所を好む	1	2	3	4	n
58. ボール投げが年齢相応に出来ない	1	2	3	4	n
59. 危険を顧みず、高いところに上ったり、飛び降りたりする	1	2	3	4	n
60. すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n
61. 他人をもののように扱う	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）					
62. その場にあったことと表情が一致していない	1	2	3	4	n
63. 友だちにやさしい	1	2	3	4	n
64. ルールが守れない	1	2	3	4	n
65. よくけんかをする	1	2	3	4	n
66. 友だちに暴力を振るう	1	2	3	4	n
67. 人のものをもって自分のテリトリーにためておく	1	2	3	4	n
68. 小さい子に暴力を振るう	1	2	3	4	n
69. 大人の言うことにことごとく反抗する	1	2	3	4	n
70. 他の子をいじめる	1	2	3	4	n
71. 力の強い子に支配されやすい	1	2	3	4	n
72. 想像力が豊かである	1	2	3	4	n
73. 力の強い人と弱い人に対する態度が全く違う	1	2	3	4	n
74. 年齢不相応に性的な言葉を発する	1	2	3	4	n
75. 汚い言葉を多用する	1	2	3	4	n
76. ものの扱いが乱雑である	1	2	3	4	n
77. 非常に衝動的な行動をする	1	2	3	4	n
78. ストーリーのある遊びができる	1	2	3	4	n
79. 集中力がない	1	2	3	4	n
80. 遊びが次々に変わる	1	2	3	4	n
81. ままごとを楽しくできる	1	2	3	4	n

「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

③ 6 歳（小学 1 年生）～18 歳

A さんの様子を思い浮かべながら、すべての質問項目に答えてください。

	あてはまらない	どちらかといえ あてはまらない	どちらかといえ あてはまる	あてはまる
1. ファミリーホームなどの大人の怒りをかうような言動が見られる	0	1	2	3
2. 遊びや趣味などで夢中になれるものがない	0	1	2	3
3. 放火や弄火（火遊び）がある	0	1	2	3
4. パニックを起こしたときなどに自分の持ち物を破いたり壊したりする	0	1	2	3
5. 大人や年長者に対して挑発的な態度をとる	0	1	2	3
6. 悲しいときに無表情である	0	1	2	3
7. 学用品などの物をよくなくす	0	1	2	3
8. イライラする	0	1	2	3
9. 大暴れして物を壊したり、人に殴りかかったりするなどのいわゆる「パニック状態」になる	0	1	2	3
10. 他の子と年齢に不相応な性的かわりがある	0	1	2	3
11. かつあげをしている	0	1	2	3
12. 落ち着きがない	0	1	2	3
13. 自分を誇示するような言動がある	0	1	2	3
14. カッターで腕を切るなどのセルフカット（リストカット）がある	0	1	2	3
15. この子が身体接触を求めてくるとき、どこか「性的ニュアンス」を感じる	0	1	2	3
16. 年少の子どもに対して、威圧的な態度をとる	0	1	2	3
17. 将来の夢がまったく持てない	0	1	2	3
18. 万引きする	0	1	2	3
19. 「どうせ自分なんか・・・」などと、自己を卑下したようなことを言う	0	1	2	3

6 歳（小学 1 年生）～18 歳

20. 食べ物に執着する	0	1	2	3
21. 否定的な感情の表現（悲しい、腹が立つなど）がない	0	1	2	3
22. 何事につけても自信がない	0	1	2	3
23. 興奮したときに自分の頭を壁にぶつけるなど、自分の身体を痛めつける行為をする	0	1	2	3
24. 悪夢を見る	0	1	2	3
25. 生まれてこなければよかったなどと口にする	0	1	2	3
26. 「どうせ大人は～」と、大人への不信感を口にする	0	1	2	3
27. 自分で自分の体を殴る	0	1	2	3
28. 常におやつを求めている	0	1	2	3
29. 喫煙する	0	1	2	3
30. 朝起きられない	0	1	2	3
31. スポーツや趣味で得意だったり、自信を持っていることがない	0	1	2	3
32. 他の子と性的な遊びをする	0	1	2	3
33. 多動でじっとしていることができない	0	1	2	3
34. 感情が表情に現れない	0	1	2	3
35. ファミリーホームの大人や他の子どもからの金品の持ち出しがある	0	1	2	3
36. 「死にたい」ともらす	0	1	2	3
37. 大人の心を傷つける言動がある	0	1	2	3
38. 異性の身体にベタベタ触れたがる	0	1	2	3
39. 不登校の傾向がある	0	1	2	3
40. 泣かない	0	1	2	3
41. 強者に対する態度と弱者に対する態度が極端に異なる	0	1	2	3
42. 学校で居眠りをしている	0	1	2	3
43. 過食がある	0	1	2	3

6 歳（小学 1 年生）～18 歳				
44. 年齢に比べて性的な事柄に対する関心が高い	0	1	2	3
45. 無断欠席が多い	0	1	2	3
46. 肯定的な感情の表現（うれしい、たのしいなど）がない	0	1	2	3
47. 大人に対して反抗的な態度を示す	0	1	2	3
48. 大量に服薬する	0	1	2	3
49. 昼夜逆転である	0	1	2	3
50. 人の神経を逆なでする	0	1	2	3
51. 衝動的に行動してしまう	0	1	2	3
52. 無断外泊がある	0	1	2	3
53. 勉強で何か得意な分野や自信を持っているものがまったくない	0	1	2	3
54. 怒りをもつと大暴れをする	0	1	2	3
55. 注意の集中が出来ない	0	1	2	3

次のページの「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

VI. 養育の状況について

1. A さんへの養育の状況について思い返してお答えください。

養育の状況	養育に 関係な かった	あては まらない	ややあ てはま らない	ややあ てはま る	あては まる
1. A さんの実親・実家族への思いについて扱うことが難しかった	0	1	2	3	4
2. 保護され社会的養護のもとで暮らすことになったことに関する経緯や現在の実家族の状況・事実を扱うことが難しかった	0	1	2	3	4
3. ファミリーホーム全体で協力し合いながら養育にあたっていた	0	1	2	3	4
4. A さんのために生活のルールを変更することが難しかった	0	1	2	3	4
5. A さんとファミリーホームですでに暮らしていた実子やその他の委託されている子どもの間の喧嘩への対応が難しかった	0	1	2	3	4
6. もともとあった問題が思春期になって大きくなったことで対応が難しかった	0	1	2	3	4
7. 話をしてくれないことに対応が難しかった	0	1	2	3	4
8. 養育に関して児童相談所や他の家族、学校の先生からの評価を気にせず、A さんの発達水準に合った養育を行うことができた	0	1	2	3	4
9. A さんの国籍が海外で文化的、宗教的多様性に対応することが難しかった	0	1	2	3	4
10. 行動上の問題が生じる背景について考えることができていた	0	1	2	3	4
11. ファミリーホーム、児童相談所、支援機関、A さんの家族、友人、学校、地域など含め「みんなで育てる」という意識を持つことができていた	0	1	2	3	4
12. プロ意識をもって養育に当たることができていた	0	1	2	3	4
13. A さんのことをかわいく感じていた	0	1	2	3	4
14. A さんに良い変化を感じることができていた	0	1	2	3	4
15. A さんの問題に養育者が精神的に耐えることが難しかった	0	1	2	3	4
16. A さんの発達水準に合わせた養育を行うことができていた	0	1	2	3	4

17. Aさんと信頼関係を築くことができていた	0	1	2	3	4
18. Aさんの感情表現を受容することができていた	0	1	2	3	4
19. 行動上の問題に対応することが難しかった (行動上の問題とは…当てはまるものに○をしてください：暴力・粗暴な物言い・盗み・非行・家に帰ってこない・物を壊す・性的問題行動・その他)	0	1	2	3	4
20. Aさんのセクシャリティ（性的あり方、LGBTQ：レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、性自認が決まっていない）への対応が難しかった	0	1	2	3	4
21. Aさんにファミリーホームのメンバーとしての感覚を持ってもらうことができていた	0	1	2	3	4
22. Aさんが将来的に 18 歳もしくは成人になり、委託解除後にどのような支援をしていけばいいのかわからなかった	0	1	2	3	4
23. Aさんの成育歴についてわからない部分があることで、かわりが難しかった	0	1	2	3	4
24. Aさんの良いところ（能力、性格、魅力等）に着目した養育ができていた	0	1	2	3	4
25. Aさんの情緒不安定への対応が難しかった	0	1	2	3	4
26. 学校や幼稚園、保育園への登校（園）拒否への対応が難しかった	0	1	2	3	4
27. Aさんと実親の交流を維持させることが難しかった	0	1	2	3	4
28. 進路に関する問題に対応することが難しかった	0	1	2	3	4
29. 定期的に養育に関する研修を受けていた	0	1	2	3	4
30. 養育者や養育者家族の急な事情（病気・介護・転勤・離婚など）のために A さんへの養育が難しかった	0	1	2	3	4
31. 学習の支援が難しかった	0	1	2	3	4

2. その他、養育上の課題がありましたらお書きください。

Ⅶ. A さんについて児童相談所の支援の状況について当てはまることについてお答えください。

1. A さんは、児童相談所からの定期的な支援を受けていましたか？

(定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった)

受けていた方は以下にお答えください (複数回答可)

(療育 ・ カウンセリング ・ プレイセラピー ・ 薬物療法 ・ その他支援 (内容

期間：A さん()歳～()歳 頻度：月に()回

2. 養育者・補助者は、児童相談所から A さんについての定期的な支援を受けていましたか？

(定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった)

受けていた方は以下にお答えください (複数回答可)

(ペアレントトレーニング ・ 養育相談 ・ 養育者のカウンセリング・その他支援 (内容

期間：A さん()歳～()歳 頻度：月に()回

3. その他、児童相談所の支援の状況についてお答えください (定期的に支援を受けていなかったとしても児童相談所とのこれまでの関わりについてお答えください) 。

児童相談所の支援の状況	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1.ファミリーホームの事情について理解しようとしていた	0	1	2	3
2.A さんについて児童相談所職員が専門性のある支援をしていた	0	1	2	3
3.A さんについて児童相談所職員に相談をしても急に委託解除されることはなかった	0	1	2	3
4. A さんについて児童相談所職員と話し合い相互理解のもと方針を立てることができていた	0	1	2	3
5. 児童相談所職員とファミリーホームが協働して自立支援計画の作成をすることができていた	0	1	2	3
6. 児童相談所職員は支援のために十分にファミリーホームへの訪問を行っていた	0	1	2	3
7. 児童相談所職員は具体的な援助に関する助言をしていた	0	1	2	3
8. 児童相談所職員は A さんと良好な関係を築くことができていた	0	1	2	3
9. 児童相談所職員相談は A さんやファミリーホームの養育者との相談のために十分に時間を取っていた	0	1	2	3
10. 児童相談所職員同士で A さんについて情報共有ができていた	0	1	2	3

VIII. A さんについて民間フォスタリング機関等（里親支援専門相談員、児童家庭支援センター等の支援含む）の支援の状況について当てはまることについてお答えください。

1. A さんは、民間フォスタリング機関等からの定期的な支援を受けていましたか？

（ 定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった ）

受けていた方は以下にお答えください（複数回答可）

（ 療育 ・ カウンセリング ・ プレイセラピー ・ 薬物療法 ・ その他支援（内容

期間：A さん（ ）歳～（ ）歳 頻度：月に（ ）回

2. 養育者・補助者は、民間フォスタリング機関等から A さんについての定期的な支援を受けていましたか？

（定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった）

受けていた方は以下にお答えください（複数回答可）

（ペアレントトレーニング ・ 養育相談 ・ 養育者のカウンセリング・その他支援（内容

期間：A さん（ ）歳～（ ）歳 頻度：月に（ ）回

3. A さんについて民間フォスタリング機関等からの支援を受けていたことがある方は以下のフォスタリング機関の支援の状況についてお答えください。受けていなかった方は、IX へ

民間フォスタリング機関等の支援の状況	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1. ファミリーホームの事情について理解しようとしていた	0	1	2	3
2. A さんについて民間フォスタリング機関等職員が専門性のある支援をしていた	0	1	2	3
3. A さんについて民間フォスタリング機関等職員に相談をしても急に委託解除されることはなかった	0	1	2	3
4. A さんについて民間フォスタリング機関等職員と話し合い相互理解のもと方針を立てることができた	0	1	2	3
5. 民間フォスタリング機関等とファミリーホームが協力して自立支援計画の作成することができていた	0	1	2	3
6. 民間フォスタリング機関等職員は支援のために十分に家庭訪問を行っていた	0	1	2	3
7. 民間フォスタリング機関等職員は具体的な援助に関する助言をしていた	0	1	2	3
8. 民間フォスタリング機関等職員は A さんと良好な関係を築くことができていた	0	1	2	3
9. 民間フォスタリング機関等職員は A さんと養育者の相談のために十分に時間を取っていた	0	1	2	3
10. 民間フォスタリング機関等職員同士で情報共有ができていた	0	1	2	3

Ⅸ. A さんに対するその他の支援とファミリーホームへの支援

1. A さんが定期的に支援を受けていた機関はありましたか？

(はい ・ いいえ)

「はい」の場合、支援を受けていた機関すべてに○をしてください。

1: 子ども家庭総合支援拠点	2: 教育相談機関 (教育相談所等)	3: 公立教育センター
4: 児童精神科	5: 小児科	6: 児童発達支援事業所
7: 放課後等デイサービス	8: 児童発達支援センター	9: 学校のスクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー
10: 里親会		
11: その他 (自由記述)		

2. A さんについて定期的に養育者または補助者が支援を受けていた機関はありましたか？

(はい ・ いいえ)

「はい」の場合、支援を受けていた機関すべてに○をしてください。

1: 子ども家庭総合支援拠点	2: 教育相談機関 (教育相談所等)	3: 公立教育センター
4: 児童精神科	5: 小児科	6: 児童発達支援事業所
7: 放課後等デイサービス	8: 児童発達支援センター	9: 学校のスクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー
10: 里親会		
11: その他 (自由記述)		

これでアンケートは終了です。

ご協力ありがとうございました。

地域小規模児童養護施設 調査用 質問紙

養育不調の要因を検討するためのアンケート

こども家庭庁

令和 5 年度こども家庭科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

同意説明文書をお読みの上、本調査へご協力いただける場合は
下記のチェックボックスにレ点チェックをご記入ください。

私は同意説明文書を読み、この研究に参加することに同意いたします。 ☐

回答日： 年 月 日

ご記入の注意点

1. 本質問紙は地域小規模児童養護施設を運営されている児童養護施設に配布させていただいております。
2. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに貴地域小規模児童養護施設にて養育の不調（措置された子どもへの対応が困難になること）があり、措置変更・措置解除されたことがある場合は、そのお子さんについてお答えください。養育不調による措置変更・措置解除を経験されたお子さんが複数人いらっしゃる場合は、フォームの指示に従い複数人分お答えください。
3. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに、地域小規模児童養護施設として養育の不調による措置変更・措置解除を経験されていない職員の方は、これまで養育をされているお子さんの中で一番長く養育している（していた）お子さんについてお答えください。
4. 原則として措置されたお子さんのことをよくわかっていて、養育をされていた方お一人がご記入ください。回答について地域小規模児童養護施設を運営されているご職員間でご相談していただいても結構です。
5. 無記名の調査のため、お名前など個人が特定できるものは記入しないでください。本調査への協力は自由意志によるものです。ご回答いただかないことで被る不利益はありません。ご回答をもって本調査への協力に同意したとさせていただきます。
6. 回答の方法は、それぞれの質問に従って回答してください。
7. 時間は 15 分程度かかります。できるだけすべての質問にお答えください。ただし、答えたくない質問につきましてはお答えいただかなくて結構です。
8. 本調査は、令和 5 年度 こども家庭科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業・課題名『児童養護施設等や里親家庭における養育の不調の要因分析に資する研究』にて行っております。その他、本データは社会的養育に関する子どもの最善の利益を検討するための研究に関して使用される場合があります。

1. この用紙のご記入者の職種をお答えください

保育士 ・ 児童指導員 ・ 自立支援担当職員 ・ その他（ ）

2. 貴施設でのご在籍期間をお答えください

(年 カ月)

3. 貴施設の入所定員数（本園と地域小規模児童養護施設の合計）を教えてください（記述）（例 50 名）

(名)

4. 貴施設の地域小規模児童養護施設の施設数をお答えください

(戸)

5. 本園（本体施設）と地域小規模施設との距離について、それぞれ何戸かお答えください。

徒歩で 10 分圏内	車で 10 分圏内	車で 10～30 分圏内	車で 30 分以上

Ⅲ. 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育不調による措置変更・措置解除を…

経験した ➡措置変更・措置解除となったお子さんを A さんとして以下の質問にお答えください。

経験していない ➡2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育されてきたお子さんの中で一番長く養育している（していた）お子さんを A さんとして以下の質問にお答えください。

1. A さん自身について

- ① 性別（ 男 ・ 女 ）
- ② 貴施設への措置時のご年齢（ 歳 カ月）
- ③ 地域小規模児童養護施設への入所時のご年齢
・措置時と同じ ・措置時と異なる場合（ 歳 カ月 ）
- ④ 措置時の在籍
・保育園 ・幼稚園 ・認定こども園
・小学（ ）年生 ・中学（ ）年生 ・高校（ ）年生
- ⑤ 現在のご年齢（ 歳 カ月）
- ⑥ 国籍（ ）

2. A さんが措置された時の地域小規模児童養護施設について（措置時の状態をお答えください）

- | | | | |
|------|-----------|------------------------------|------------|
| 職員 1 | （ 男 ・ 女 ） | （20 代・30 代・40 代・50 代・60 代以上） | （ 常勤・非常勤 ） |
| 職員 2 | （ 男 ・ 女 ） | （20 代・30 代・40 代・50 代・60 代以上） | （ 常勤・非常勤 ） |
| 職員 3 | （ 男 ・ 女 ） | （20 代・30 代・40 代・50 代・60 代以上） | （ 常勤・非常勤 ） |
| 職員 4 | （ 男 ・ 女 ） | （20 代・30 代・40 代・50 代・60 代以上） | （ 常勤・非常勤 ） |

3. A さんを措置された時の施設内の子どもについて（措置時の状態をお答え下さい）

- 子ども 1 :（ 男 ・ 女 ）（ 歳）
 保育園 ・ 幼稚園 ・ 認定こども園 ・ 小学（ ）年生 ・ 中学（ ）年生 ・ 高校（ ）年生
- 子ども 2 :（ 男 ・ 女 ）（ 歳）
 保育園 ・ 幼稚園 ・ 認定こども園 ・ 小学（ ）年生 ・ 中学（ ）年生 ・ 高校（ ）年生
- 子ども 3 :（ 男 ・ 女 ）（ 歳）
 保育園 ・ 幼稚園 ・ 認定こども園 ・ 小学（ ）年生 ・ 中学（ ）年生 ・ 高校（ ）年生
- 子ども 4 :（ 男 ・ 女 ）（ 歳）
 保育園 ・ 幼稚園 ・ 認定こども園 ・ 小学（ ）年生 ・ 中学（ ）年生 ・ 高校（ ）年生
- 子ども 5 :（ 男 ・ 女 ）（ 歳）
 保育園 ・ 幼稚園 ・ 認定こども園 ・ 小学（ ）年生 ・ 中学（ ）年生 ・ 高校（ ）年生

4. A さんが措置されたのちに、職員またはその他の入居児童に心身の変調などがあり、病院を受診したことがありましたか？

（ はい ・ いいえ ）

1. Aさんの児童相談所による保護の理由について（複数回答可）

- | | | | | |
|----------------|------------------|------------------|----------------|------------|
| 1: 保護者の死亡 | 2: 保護者の行方不明 | 3: 父母の離婚 | 4: 父母の未婚 | 5: 父母の不和 |
| 6: 保護者の拘禁 | 7: 保護者の入院 | 8: 家族の疾病の付き添い | 9: 次子出産 | 10: 保護者の就労 |
| 11: 保護者の精神疾患 | 12: 保護者の放任もしくは怠惰 | 13: 父の虐待もしくは酷使 | 14: 母の虐待もしくは酷使 | 15: 棄児 |
| 16: 養育拒否 | 17: 破産等の経済的理由 | 18: 児童の問題による監護困難 | 19: 児童の障害 | |
| 20: その他
() | | | | 21: 不詳 |

2. Aさんの虐待の被害について当てはまるものに○をつけてください。

虐待被害 (あり ・ なし ・ 不詳)

ありの場合その種類（複数回答可）

(身体的虐待 ・ ネグレクト ・ 性的虐待 ・ 心理的虐待)

3. Aさんの心身の状況について医学的な診断を受けたことがありますか？

医師による医学的診断 (あり ・ なし ・ 不詳)

医学的診断が「あり」の場合、その内容（複数回答可）

- | | | | | |
|---------------|----------------------|-----------------------|------------|----------------------|
| 1: 身体虚弱 | 2: 肢体不自由 | 3: 視覚障害 | 4: 聴覚障害 | 5: 言語障害 |
| 6: 知的障害 | 7: てんかん | 8: 心的外傷後ストレス障害 (PTSD) | 9: 反応性愛着障害 | 10: 注意欠陥多動性障害 (ADHD) |
| 11: 学習障害 (LD) | 12: 自閉スペクトラム障害 (ASD) | 13: 高次脳機能障害 | 14: チック | 15: 吃音症 |
| 16: 発達性協調運動障害 | 17: その他 () | | | |

4. A さんの知能検査・発達検査について覚えている範囲でお答えください

※児童相談所に改めての問い合わせを行わないで結構です

知能検査を受けましたか？

(はい ・ いいえ ・ 不詳)

「はい」にお答えの方は以下に回答ください。

① WISC-IV もしくは V (検査実施年月: 年 月)

全検査 IQ (FSIQ) (当てはまるところに○をつけてください。)

51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

② 田中ビネー知能検査 V (検査実施年月: 年 月)

IQ 値 (当てはまるところに○をつけてください。)

51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

③ 新版 K 式発達検査 (検査実施年月: 年 月)

発達指数 (当てはまるところに○をつけてください。)

41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130
-------	-------	-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------

V. A さんの行動上の問題

・ 2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに養育不調による措置変更・措置解除を経験された方

措置変更・措置解除となった頃の A さんの様子についてお答えください。

A さんの措置変更・措置解除時の年齢が

① 生後 6 ヶ月～2 歳未満 → 緑色の質問票

② 2 歳～6 歳 (就学前) → 黄色の質問票

③ 6 歳 (小学 1 年生以上) ～18 歳 → 青色の質問票

・ 養育不調による措置変更・措置解除を経験されていない方

2021 年 4 月から 2023 年 12 月末までに最も長く養育している (していた) A さんの様子についてお答えください。

A さんの現在の年齢が

① 生後 6 ヶ月～2 歳未満 → 緑色の質問票

② 2 歳～6 歳 (就学前) → 黄色の質問票

③ 6 歳 (小学 1 年生以上) ～18 歳 → 青色の質問票

① 生後 6 カ月～2 歳未満

A さんに以下のような状況が見られますか？

年齢的にまだできないと思われる事柄については「年齢的に不可能」とお答えください。

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
1. ある特定の状況で、急に激しく泣くなど表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2. 些細なことでびくびくして不安そうにする	1	2	3	4	n
3. 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4. 普通以上に怖がる特定の人や物や場面がある	1	2	3	4	n
5. 夜泣きが激しい	1	2	3	4	n
6. 感情の起伏が激しい	1	2	3	4	n
7. ひとりで遊んでいることが多い	1	2	3	4	n

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人（担当職員やその他の職員）のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

A さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
8. 表情が乏しい	1	2	3	4	n
9. 大人と関わろうとしない	1	2	3	4	n
10. 「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
11. 生き生きとしている	1	2	3	4	n
12. 友だちと仲良く遊ぶ	1	2	3	4	n
13. 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14. ちょっとしたことで怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
15. 「特別な大人」に抱かれていても、遠くをボーッと見ている	1	2	3	4	n
16. 突然固まって、ぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
17. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n

① 生後 6 カ月～2 歳未満

18. いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
19. 遊びに集中できない	1	2	3	4	n
20. 悲しそうにしている	1	2	3	4	n
21. 笑顔が少ない	1	2	3	4	n
22. 凍り付いた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
23. 大人がいても自分で危険な行動をとる	1	2	3	4	n

A さんに次のようなことはありますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
24. 人のものをとったりする	1	2	3	4	n
25. ぐずることが多い	1	2	3	4	n
26. 床や壁に自分の頭を打ち付けることがある	1	2	3	4	n
27. すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n

「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

② 2歳～6歳（就学前）

Aさんに以下のような状況が見られますか？

年齢的にまだできないと思われる事柄については「年齢的に不可能」とお答えください。

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
1. ある特定の状況で、急に激しく泣くなど表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	n
2. ある特定の状況で、こちらとかかわらなくなってポーっとしていることがある	1	2	3	4	n
3. 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	n
4. 親が「出来ていた」と言うことでもできなくなっていることがある	1	2	3	4	n
5. 寝つきが悪い	1	2	3	4	n
6. 周囲に対して攻撃的である	1	2	3	4	n

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人（担当職員やその他の職員）のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

Aさんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
7. 表情が乏しい	1	2	3	4	n
8. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、「特別な大人」に近づいて慰めを求めようとせず、固まってしまう	1	2	3	4	n
9. 「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	n
10. 危ないことを平気でする	1	2	3	4	n
11. 表情が明るい	1	2	3	4	n
12. 「特別な大人」の言うことを素直に聞く	1	2	3	4	n
13. 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	n
14. すぐに「特別な大人」に頼る	1	2	3	4	n
15. 依存心が強い	1	2	3	4	n
16. 大人に気に入られようと可愛い子ぶる	1	2	3	4	n
17. 誰にでもべたべたしてくる	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）					
18.ちょっとしたことで怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	n
19. 「特別な大人」に抱かれていても、遠くをポーッと見ている	1	2	3	4	n
20. 突然固まってぼーとした表情をする	1	2	3	4	n
21. 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	n
22. 「特別な大人」を困らせるような行動を多くとる	1	2	3	4	n
23. 過度に警戒している	1	2	3	4	n
24. 常に緊張している	1	2	3	4	n
25. いつもいらいらしている	1	2	3	4	n
26. 遊びに集中できない	1	2	3	4	n
27. 悲しそうにしている	1	2	3	4	n
28. 笑顔が少ない	1	2	3	4	n
29. 年齢不相応に動きが少ない	1	2	3	4	n
30. 凍り付いた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	n
31. 目を合わせて笑いあうことが少ない	1	2	3	4	n
32. 自分から甘えてくることが少ない	1	2	3	4	n
33. 甘え方が下手である	1	2	3	4	n
34. 次々に別の大人を求める	1	2	3	4	n
35. 視線を合わせることが少ない	1	2	3	4	n
36. ちょっとしたことで固まってしまう	1	2	3	4	n
37. 「特別な大人」を求めてくるがすぐに他へ向かう	1	2	3	4	n
38. 「特別な大人」を求めているながら、ちょっとした事で避けてしまう	1	2	3	4	n
39. ひとりの大人と集中して遊べない	1	2	3	4	n
40. 特定の大人との強いかわりができない	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）

Aさんに次のようなことはありますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
41. 人のものをとったりする	1	2	3	4	n
42. 友達と仲良く遊ぶ	1	2	3	4	n
43. 気分や感情が急に変わる	1	2	3	4	n
44. ミルクや食事の量や速度にムラがある	1	2	3	4	n
45. 活動が激しい時と遅い（おとなしい）時があり、一定しない	1	2	3	4	n
46. 興奮するととめることが出来ない	1	2	3	4	n
47. 気に入らないと通常以上に激しく泣く	1	2	3	4	n
48. 泣き出すとなかなか止まらない	1	2	3	4	n
49. ぐずることが多い	1	2	3	4	n
50. かんしゃくが多い	1	2	3	4	n
51. かっとなると暴力的になる	1	2	3	4	n
52. 一つの行動から他の行動への切り替えがうまくいかない	1	2	3	4	n
53. 大きな音を怖がる	1	2	3	4	n
54. 大きな声で話す傾向がある	1	2	3	4	n
55. 注射などを極端に嫌がる	1	2	3	4	n
56. 転びやすい	1	2	3	4	n
57. 不安定な場所を好む	1	2	3	4	n
58. ボール投げが年齢相応に出来ない	1	2	3	4	n
59. 危険を顧みず、高いところに上ったり、飛び降りたりする	1	2	3	4	n
60. すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	n
61. 他人をもののように扱う	1	2	3	4	n
62. その場にあったことと表情が一致していない	1	2	3	4	n

② 2歳～6歳（就学前）					
63. 友だちにやさしい	1	2	3	4	n
64. ルールが守れない	1	2	3	4	n
65. よくけんかをする	1	2	3	4	n
66. 友だちに暴力を振るう	1	2	3	4	n
67. 人のものをもって自分のテリトリーにためておく	1	2	3	4	n
68. 小さい子に暴力を振るう	1	2	3	4	n
69. 大人の言うことにことごとく反抗する	1	2	3	4	n
70. 他の子をいじめる	1	2	3	4	n
71. 力の強い子に支配されやすい	1	2	3	4	n
72. 想像力が豊かである	1	2	3	4	n
73. 力の強い人と弱い人に対する態度が全く違う	1	2	3	4	n
74. 年齢不相応に性的な言葉を発する	1	2	3	4	n
75. 汚い言葉を多用する	1	2	3	4	n
76. ものの扱いが乱雑である	1	2	3	4	n
77. 非常に衝動的な行動をする	1	2	3	4	n
78. ストーリーのある遊びができる	1	2	3	4	n
79. 集中力がない	1	2	3	4	n
80. 遊びが次々に変わる	1	2	3	4	n
81. ままごとを楽しくできる	1	2	3	4	n

「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

6 歳（小学 1 年生）～18 歳

A さんの様子を思い浮かべながら、すべての質問項目に答えてください。

	あてはまらない	どちらかといえ あてはまらない	どちらかといえ あてはまる	あてはまる
1. 職員などの大人の怒りをかうような言動が見られる	0	1	2	3
2. 遊びや趣味などで夢中になれるものがない	0	1	2	3
3. 放火や弄火（火遊び）がある	0	1	2	3
4. パニックを起こしたときなどに自分の持ち物を破いたり壊したりする	0	1	2	3
5. 大人や年長者に対して挑発的な態度をとる	0	1	2	3
6. 悲しいときに無表情である	0	1	2	3
7. 学用品などの物をよくなくす	0	1	2	3
8. イライラする	0	1	2	3
9. 大暴れして物を壊したり、人に殴りかかったりするなどのいわゆる「パニック状態」になる	0	1	2	3
10. 他の子と年齢に不相応な性的かわりがある	0	1	2	3
11. かつあげをしている	0	1	2	3
12. 落ち着きがない	0	1	2	3
13. 自分を誇示するような言動がある	0	1	2	3
14. カッターで腕を切るなどのセルフカット（リストカット）がある	0	1	2	3
15. この子が身体接触を求めてくるとき、どこか「性的ニュアンス」を感じる	0	1	2	3
16. 年少の子どもに対して、威圧的な態度をとる	0	1	2	3
17. 将来の夢がまったく持てない	0	1	2	3
18. 万引きする	0	1	2	3
19. 「どうせ自分なんか・・・」などと、自己を卑下したようなことを言う	0	1	2	3
20. 食べ物に執着する	0	1	2	3

③ 6 歳（小学 1 年生）～18 歳				
21. 否定的な感情の表現（悲しい、腹が立つなど）がない	0	1	2	3
22. 何事につけても自信がない	0	1	2	3
23. 興奮したときに自分の頭を壁にぶつけるなど、自分の身体を痛めつける行為をする	0	1	2	3
24. 悪夢を見る	0	1	2	3
25. 生まれてこなければよかったなどと口にする	0	1	2	3
26. 「どうせ大人は～」と、大人への不信感を口にする	0	1	2	3
27. 自分で自分の体を殴る	0	1	2	3
28. 常におやつを求めている	0	1	2	3
29. 喫煙する	0	1	2	3
30. 朝起きられない	0	1	2	3
31. スポーツや趣味で得意だったり、自信を持っていることがない	0	1	2	3
32. 他の子と性的な遊びをする	0	1	2	3
33. 多動でじっとしていることができない	0	1	2	3
34. 感情が表情に現れない	0	1	2	3
35. 職員や他の子どもからの金品の持ち出しがある	0	1	2	3
36. 「死にたい」ともらす	0	1	2	3
37. 大人の心を傷つける言動がある	0	1	2	3
38. 異性の身体にベタベタ触れたがる	0	1	2	3
39. 不登校の傾向がある	0	1	2	3
40. 泣かない	0	1	2	3
41. 強者に対する態度と弱者に対する態度が極端に異なる	0	1	2	3
42. 学校で居眠りをしている	0	1	2	3
43. 過食がある	0	1	2	3
44. 年齢に比べて性的な事柄に対する関心が高い	0	1	2	3
45. 無断欠席が多い	0	1	2	3
46. 肯定的な感情の表現（うれしい、たのしいなど）がない	0	1	2	3

③ 6 歳（小学 1 年生）～18 歳				
47. 大人に対して反抗的な態度を示す	0	1	2	3
48. 大量に服薬する	0	1	2	3
49. 昼夜逆転である	0	1	2	3
50. 人の神経を逆なでする	0	1	2	3
51. 衝動的に行動してしまう	0	1	2	3
52. 無断外泊がある	0	1	2	3
53. 勉強で何か得意な分野や自信を持っているものがまったくない	0	1	2	3
54. 怒りをもつと大暴れをする	0	1	2	3
55. 注意の集中が出来ない	0	1	2	3

次のページの「Ⅵ. 養育の状況について」へお進みください。

VI. 養育の状況について

1. Aさんへの養育の状況について思い返してお答えください。

養育の状況	養育に 関係なかつた	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1.Aさんの実親・実家族への思いについて扱うことが難しかった	0	1	2	3	4
2.保護され社会的養護のもとで暮らすことになったことに関する経緯や現在の実家族の状況事実を行うことが難しかった	0	1	2	3	4
3.施設職員全体で協力し合いながら養育にあたっていた	0	1	2	3	4
4.Aさんのために施設の生活のルールを変更することが難しかった	0	1	2	3	4
5.Aさん和其他の入所児童とのトラブルへの対応が難しかった	0	1	2	3	4
6.もともとあった問題が思春期になって大きくなったことで対応が難しかった	0	1	2	3	4
7.話をしてくれないことに対応が難しかった	0	1	2	3	4
8.養育に関して児童相談所や学校の先生からの評価を気にせず、Aさんの発達水準に合った養育を行うことができた	0	1	2	3	4
9.Aさんの国籍が海外で文化的、宗教的多様性に対応することが難しかった	0	1	2	3	4
10.行動上の問題が生じる背景について考えることができていた	0	1	2	3	4
11.施設、児童相談所、支援機関、Aさんの家族や友人、学校、地域など含め「みんなで育てる」という意識を持つことができていた	0	1	2	3	4
12.プロ意識をもって養育に当たることができていた	0	1	2	3	4
13.Aさんのことをかわいく感じていた	0	1	2	3	4
14.Aさんに良い変化を感じる事ができていた	0	1	2	3	4
15.Aさんの問題に職員が精神的に耐えることが難しかった	0	1	2	3	4
16.Aさんの発達水準に合わせた養育を行うことができていた	0	1	2	3	4

17.Aさんと信頼関係を築くことができていた	0	1	2	3	4
18.Aさんの感情表現を受容することができていた	0	1	2	3	4
19.行動上の問題に対応することが難しかった (行動上の問題とは…当てはまるものに○をしてください：暴力・粗暴な物言い・盗み・非行・家に帰ってこない・物を壊す・性的問題行動・その他)	0	1	2	3	4
20.Aさんのセクシャリティ（性的あり方、LGBTQ：レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、性自認が決まっていない）への対応が難しかった	0	1	2	3	4
21.Aさんにグループホーム（地域小規模児童養護施設）メンバーとしての感覚を持ってもらうことができていた	0	1	2	3	4
22.Aさんが将来的に 18 歳もしくは成人になり、措置解除後にどのような支援を築いていけばいいのかわからなかった	0	1	2	3	4
23.Aさんの成育歴についてわからない部分があることで、かかわりが難しかった	0	1	2	3	4
24.Aさんの良いところ（能力、性格、魅力等）に着目した養育ができていた	0	1	2	3	4
25.Aさんの情緒不安定への対応が難しかった	0	1	2	3	4
26.学校や幼稚園、保育園への登校（園）拒否への対応が難しかった	0	1	2	3	4
27.Aさんと実親の交流を維持させることが難しかった	0	1	2	3	4
28.進路に関する問題に対応することが難しかった	0	1	2	3	4
29.定期的に養育に関する研修を受けていた	0	1	2	3	4
30.職員の退職や異動のために A さんへの養育が難しかった	0	1	2	3	4
31.学習の支援が難しかった	0	1	2	3	4

2. その他、養育上の課題がありましたらお書きください。

Ⅶ. A さんについて児童相談所の支援の状況について当てはまることについてお答えください。

1. A さんは、児童相談所からの定期的な支援を受けていましたか？

(定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった)

受けていた方は以下にお答えください (複数回答可)

(療育 ・ カウンセリング ・ プレイセラピー ・ 薬物療法 ・ その他支援 (内容

期間：A さん()歳～()歳 頻度：月に()回

2. 職員は、児童相談所から A さんについての定期的な支援を受けていましたか？

(定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった)

受けていた方は以下にお答えください (複数回答可)

(ペアレントトレーニング ・ 養育相談 ・ 職員のカウンセリング・その他支援 (内容

期間：A さん()歳～()歳 頻度：月に()回

3. その他、児童相談所の支援の状況についてお答えください (定期的に支援を受けていなかったとしても児童相談所とのこれまでの関わりについてお答えください)。

児童相談所の支援の状況	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1.施設の事情について理解しようとしていた	0	1	2	3
2.A さんについて児童相談所職員が専門性のある支援をしていた	0	1	2	3
3.A さんについて児童相談所職員に相談をしても急に措置変更されることはなかった	0	1	2	3
4. A さんについて児童相談所職員と話し合い相互理解のもと方針を立てることができていた	0	1	2	3
5.児童相談所職員と施設が協働して自立支援計画の作成をすることができていた	0	1	2	3
6.児童相談所職員は支援のために十分に地域小規模児童養護施設訪問を行っていた	0	1	2	3
7.児童相談所職員は具体的な援助に関する助言をしていた	0	1	2	3
8.児童相談所職員は A さんと良好な関係を築くことができていた	0	1	2	3
9.児童相談所職員相談は A さんや施設職員との相談のために十分に時間を取っていた	0	1	2	3
10.児童相談所職員同士で A さんについて情報共有ができていた	0	1	2	3

Ⅷ. A さんに対する本園（本体施設）からの支援の状況についてお答えください

1. A さんは、本園（本体施設）からの定期的な支援を受けていましたか？

（定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった）

受けていた方は以下にお答えください（複数回答可）

（療育 ・ カウンセリング・プレイセラピー ・ 薬物療法 ・ その他支援（内容
期間：A さん（ ）歳～（ ）歳 頻度：月に（ ）回

2. 職員は、本園（本体施設）から A さんについての定期的な支援を受けていましたか？

（定期的な支援を受けていた ・ 定期的には支援を受けていなかった）

受けていた方は以下にお答えください（複数回答可）

（ペアレントトレーニング ・ 養育相談 ・ 職員のカウンセリング ・
心理職からのコンサルテーション ・ その他支援（内容
期間：A さん（ ）歳～（ ）歳 頻度：月に（ ）回

3. A さんについて本園（本体施設）からの支援状況についてお答えください

本園の支援の状況	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1. 地域小規模児童養護施設の事情について理解しようとしていた	0	1	2	3
2. A さんについて本園（本体施設）が専門性のある支援をしていた	0	1	2	3
3. A さんについて本園（本体施設）に相談をしても急に措置変更や異動されることはなかった	0	1	2	3
4. 本園（本体施設）と話し合い相互理解のもと方針を立てることができた	0	1	2	3
5. 本園（本体施設）と地域小規模児童養護施設が協力して自立支援計画の作成をすることができていた	0	1	2	3
6. 本園（本体施設）は支援のために十分に地域小規模児童養護施設の訪問を行っていた	0	1	2	3
7. 本園（本体施設）は具体的な援助に関する助言をしていた	0	1	2	3
8. 本園（本体施設）は A さんと良好な関係を築くことができていた	0	1	2	3
9. 本園（本体施設）は A さんや施設職員との相談のために十分に時間を取っていた	0	1	2	3
10. 本園（本体施設）の職員同士で A さんについての情報共有ができていた	0	1	2	3

IX. A さんに対するその他の支援と地域小規模児童養護施設への支援

1. A さんが定期的に支援を受けていた機関はありましたか？

(はい ・ いいえ)

「はい」の場合、支援を受けていた機関すべてに○をしてください。

1: 子ども家庭総合支援拠点	2: 教育相談機関（教育相談所等）	3: 公立教育センター
4: 児童精神科	5: 小児科	6: 児童発達支援事業所
7: 放課後等デイサービス	8: 児童発達支援センター	9: 学校のスクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー
10: その他 （自由記述）		

2. A さんについて定期的に職員が支援を受けていた機関はありましたか？

(はい ・ いいえ)

「はい」の場合、支援を受けていた機関すべてに○をしてください。

1: 子ども家庭総合支援拠点	2: 教育相談機関（教育相談所等）	3: 公立教育センター
4: 児童精神科	5: 小児科	6: 児童発達支援事業所
7: 放課後等デイサービス	8: 児童発達支援センター	9: 学校のスクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー
10: その他 （自由記述）		

X. 地域小規模児童養護施設において養育不調による本体施設（本園）への異動について

1. 養育不調や子どもの抱える問題によって、地域小規模児童養護施設（貴施設）から本体施設（本園）に異動になった子どもはいますか？

○いる → 質問 2 に進む

○いない → 質問 3 に進む

2. 「いる」場合、その子どもが異動になった理由について教えてください（記述）

[]

3. 「いない」場合、地域小規模児童養護施設で養育不調が起こらないために貴施設で工夫されていることがあれば教えてください（記述）

[]

XI. その他地域小規模児童養護施設が抱えている課題があれば、教えてください（記述）

[]

これでアンケートは終了です。

ご協力ありがとうございました。

養育不調の要因を検討するための児童相談所へのアンケート

こども家庭庁
令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

ご記入の注意点

1. 本調査は全国の児童相談所における里親委託、ファミリーホーム、地域小規模児童養護施設への措置の状況の現状と養育の不調（養育者が委託・措置された子どもへの対応が困難になること）による委託・措置解除・措置変更の状況を調べるためのものです。
2. 本調査票は7つのシートに分かれています。エクセルウィンドウ下部のタブをご確認ください。

フェイス シート (本紙)	A票			B票		
	里親	ファミリーホーム	地域小規模 児童養護施設	里親	ファミリーホーム	地域小規模 児童養護施設

A票はすべての児童相談所で2020年4月1日から2023年3月31日までの間に里親、ファミリーホームへの委託、地域小規模児童養護施設に措置している子ども達の全体の状況について記入いただく調査票です。その間に委託・措置が継続している子どもと、養育の不調により委託・措置が解除・変更となった子どもについて回答いただけます。B票は養育の不調により委託解除、措置解除、措置変更となった子どもに関する個別事例について記入いただく調査票です。

3. お忙しいところ恐縮ですが、**2024年3月15日までに**、お答えいただき seiiku-research@ncchd.go.jp までご送付ください。
4. 本調査は、令和5年度こども家庭科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業・課題名『児童養護施設等や里親家庭における養育の不調の要因分析に資する研究』にて行っております。その他、本データは社会的養育に関する子どもの最善の利益を検討するための研究に関して使用される場合があります。
5. お答えいただく箇所は、セルを色付けしています。

緑色のセル	：数字や文字を直接入力する回答です。間違えのないよう、セルへ直接打ち込んでください。
青色のセル	：選択式の回答です。当てはまるものをプルダウンからご選択ください。間違えた場合は、deleteキーで消すことができます。

同意説明文書をお読みの上、本調査へご協力いただける場合は
下記のチェックボックスにチェックして下さい。↓

同意説明文書を読み、この研究に参加することに同意いたします。 ☐

回答日： 年 月 日

1. 児童相談所名をお書きください

2. 回答者の職種についてお答えください

職種：

3. 回答者の児童相談所における勤務期間についてお答えください

貴児童相談所で 年 ヵ月
他の児童相談所で 年 ヵ月

4. 貴児童相談所では専門職採用をしていますか？ → はい の場合 どのような資格要件で採用されていますか？ (複数選択可)

1: はい 2: いいえ ☐

社会福祉士	☐
精神保健福祉士	☐
保育士	☐
児童指導員	☐
児童自立支援専門員	☐
短大を卒業した方で 社会福祉関連事業経験2年以上の方	☐
福祉に関する職務経験5年以上	☐
福祉学に関する学部/大学の卒業	☐
心理学に関する学部/大学の卒業	☐

次のシートA票（里親）からご回答にお進みください。

A票（里親）

I

左側のコラムは

里親委託継続ケースについてお答えください。また、入力は半角数字で行ってください。

1-1.養育里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-2.専門里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

II

右側のコラムは

養育不調（養育をする上で対応が困難）による里親委託解除となったケースについてお答えください。また、入力は半角数字で行ってください。

1-1.養育里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-2.専門里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

委託継続ケース

養育不調による委託解除ケース

1-3.親族里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-4.養子縁組里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり (里親宅で1人以上同居)			
あり(里親宅同居なし)			
なし			

1-3.親族里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-4.養子縁組里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり (里親宅で1人以上同居)			
あり(里親宅同居なし)			
なし			

養育不調による委託解除ケース

委託継続ケース

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 委託期間別件数

3月末時点での期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						
2年以上～3年未満						
3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

7. 委託時の年齢

(それぞれの年度で委託継続されている子どもの委託時の年齢別件数)

委託時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 委託期間別件数

委託解除時までの期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						
2年以上～3年未満						
3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

7. 委託時の年齢

(それぞれの年度で委託解除された子どもの、委託時の年齢別件数)

委託時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						

養育不調による委託解除ケース

委託継続ケース

17歳						
18歳以上						

8.過去に家庭復帰ケースになったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、現在里親家庭に在籍している子どもの数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

9.現委託先への委託以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在の里親委託は措置に含まれない）

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

10. 連携している機関につなげた(ている)人数

17歳						
18歳以上						

8.過去に家庭復帰ケースとなったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、当該里親に委託されたが、養育の不調により委託解除となった子どもの数

里親委託解除 となった時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

9.現委託先への委託以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在の里親委託は措置に含まれない）

里親委託解除 となった時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

10. 連携している機関につなげた(ている)人数

養育不調による委託解除ケース

委託継続ケース

付録 4

	2020年度	2021年度	2022年度
子ども家庭総合支援拠点			
教育相談機関 (教育相談所等)			
公立教育センター			
児童精神科			
小児科			
児童発達支援事業所			
放課後等デイサービス			
児童発達支援センター			
フォスタリング機関			
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー			
その他			

11. 委託されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

	2020年度	2021年度	2022年度
子ども家庭総合支援拠点			
教育相談機関 (教育相談所等)			
公立教育センター			
児童精神科			
小児科			
児童発達支援事業所			
放課後等デイサービス			
児童発達支援センター			
フォスタリング機関			
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー			
その他			

11. 委託されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

これでA票（里親）は終了です。
次のシートにあるA票（ファミリーホーム）へお進みください。

A票（ファミリーホーム）

I

左側のコラムは

ファミリーホーム継続委託ケースについてお答えください。
また、入力は半角数字で行ってください。

1. 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり（ファミリーホーム 宅で1人以上同居）			
あり（ファミリーホーム宅 同居なし）			
なし			

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 委託期間別件数

3月末時点での期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						
2年以上～3年未満						

II

右側のコラムは

養育不調によるファミリーホーム委託解除ケースについてお答えください。
また、入力は半角数字で行ってください。

1. 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり（ファミリーホーム 宅で1人以上同居）			
あり（ファミリーホーム宅 同居なし）			
なし			

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 委託期間別件数

委託解除時までの期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						
2年以上～3年未満						

養育不調による委託解除ケース

3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

7. 委託時の年齢

(それぞれの年度で委託継続されている子どもの委託時の年齢別件数)

委託時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

8. 過去に家庭復帰ケースになったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、現在ファミリーホームに在籍している子どもの数

3月末時点での期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						

3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

7. 委託時の年齢

(それぞれの年度で委託解除された子どもの、委託時の年齢別件数)

委託時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

8. 過去に家庭復帰ケースとなったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、当該ファミリーホームに委託されたが、養育の不調により委託解除となった子どもの数

ファミリーホーム委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						

委託継続ケース

養育不調による委託解除ケース

8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

9.現委託先への委託以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在のファミリーホームへの委託は措置に含まれない）

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

10. 連携している機関につなげた(ている)人数

	2020年度	2021年度	2022年度
子ども家庭総合支援拠点			
教育相談機関 (教育相談所等)			
公立教育センター			
児童精神科			
小児科			
児童発達支援事業所			
放課後等デイサービス			
児童発達支援センター			
フォスタリング機関			
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー			
その他			

8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

養育不調

9.現委託先への委託以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在のファミリーホームへの委託は措置に含まれない）

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

委託継続ケース

調による委託解除ケース

10. 連携している機関につなげた(ている)人数

	2020年度	2021年度	2022年度
子ども家庭総合支援拠点			
教育相談機関 (教育相談所等)			
公立教育センター			
児童精神科			
小児科			
児童発達支援事業所			
放課後等デイサービス			
児童発達支援センター			
フォスタリング機関			
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー			
その他			

11. 委託されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

11. 委託されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

これでA票（ファミリーホーム）は終了です。
次のシートにあるA票（地域小規模児童養護施設）へお進みください。

A票（地域小規模児童養護施設）

I

左側のコラムは

地域小規模児童養護施設への措置継続ケースについてお答えください。
また、入力は半角数字で行ってください。

1-1. 男女・年齢別の措置継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり (同地域小規模児童養護施設内で1人以上同居)			
あり (同地域小規模児童養護施設内での同居なし)			
なし			

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 措置期間別件数

3月末時点での期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						

II

右側のコラムは

地域小規模児童養護施設の養育不調による措置変更・措置解除ケース
についてお答えください。
また、入力は半角数字で行ってください。

1. 男女・年齢別の不調による措置変更・措置解除件数

措置変更・ 措置解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり (同地域小規模児童養護施設内で1人以上同居)			
あり (同地域小規模児童養護施設内での同居なし)			
なし			

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 措置期間別件数

措置変更・措置解除時までの期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						

養育不調による措置変更・措置解除ケース

2年以上～3年未満						
3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり	回答不要		
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり	回答不要		
なし			

7. 措置時の年齢

(それぞれの年度で措置継続されている子どもの措置時の年齢別件数)

措置時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

8. 過去に家庭復帰ケースになったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、現在地域小規模児童養護施設に在籍している子どもの数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						

2年以上～3年未満						
3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり	回答不要		
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり	回答不要		
なし			

7. 措置時の年齢

(それぞれの年度で措置変更・措置解除された子どもの、措置時の年齢別件数)

措置時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

8. 過去に家庭復帰ケースとなったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、当該地域小規模児童養護施設に措置されたが、養育の不調により措置変更・措置解除となった子どもの数

措置変更・措置解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						

養育不調による措置変更・措置解除ケース

措置継続ケース

6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

9.現措置先への措置以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在の地域小規模児童養護施設のための措置は、措置変更に含まれない）

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

10. 児童相談所が連携している機関につなげた(ている)人数

	2020年度	2021年度	2022年度
子ども家庭総合支援拠点			
教育相談機関 (教育相談所等)			
公立教育センター			
児童精神科			
小児科			
児童発達支援事業所			
放課後等デイサービス			
児童発達支援センター			

養育不調による措置

措置変更・措置解除ケース

6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

9.現措置先への措置以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在の地域小規模児童養護施設のための措置は、措置変更に含まれない）

措置変更・措置解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

10. 児童相談所が連携している機関につなげた(ている)人数

	2020年度	2021年度	2022年度
子ども家庭総合支援拠点			
教育相談機関 (教育相談所等)			
公立教育センター			
児童精神科			
小児科			
児童発達支援事業所			
放課後等デイサービス			
児童発達支援センター			

フォostタリグ機関			
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー			
その他			

11. 措置されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

フォostタリグ機関			
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー			
その他			

11. 措置されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

これでA票（地域小規模児童養護施設）は終了です。
次のシートにあるB票（里親）へお進みください。

B票個別ケース調査（里親）

この質問票は、養育の不調（養育する上で困難になること）で委託解除したケースについてお答えください。

2020年度から2022年度までに里親委託解除となったお子さんは何人ですか？

人

→この人数分のB票をご回答ください。右へスクロールすると2人目、3人目と続きます。

10人目までご用意していますが、11人以上いる場合はお手数ですが1人目の回答を始める前に、11人目以降の回答欄を追加してください。

回答欄の追加方法：

- ①1人目の回答欄である「A列からO列」までを選択してコピー
- ②11人目の回答欄にあたる「EU列」を選択してペースト
- ③O人目を11人目に変更
- ④②～③を繰り返して人数分の回答欄を追加する

1人目

養育の不調（養育する上で対応が困難になること）による里親委託解除となったお子さんをAさんとして以下の質問にお答えください。

1. 委託解除時の里親委託の分類を1つ選択してください。

1: 養育里親	
2: 専門里親	
3: 親族里親	
4: 養子縁組里親	

2. Aさん、及びその実親について以下の項目にご記入、あるいはあてはまる項目を選択してください。

2-1. 委託開始年齢		歳		ヵ月
2-2. 性別	1: 男性	2: 女性		
2-3. 委託解除時の年齢		歳		ヵ月
2-4. 国籍				
2-5. 養育問題発生理由（複数回答可）				
1: 保護者の死亡		11: 保護者の精神疾患		
2: 保護者の行方不明		12: 保護者の放任もしくは怠惰		
3: 父母の離婚		13: 父の虐待もしくは酷使		
4: 父母の未婚		14: 母の虐待もしくは酷使		
5: 父母の不和		15: 棄児		
6: 保護者の拘禁		16: 養育拒否		
7: 保護者の入院		17: 破産等の経済的理由		
8: 家族の疾病の付き添い		18: 児童の問題による監護困難		
9: 次子出産		19: 児童の障害		
10: 保護者の就労		20: その他		
		21: 不詳		

↓「20: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。

3. Aさんの過去の虐待被害について当てはまるものを選択してください。

3-1. 虐待被害の有無

1: あり	
2: なし	

「1: あり」を選択された場合⇒3-2へお進みください

「2: なし」を選択された場合⇒4へお進みください

3-2. 虐待の種類（複数選択可）

1: 身体的虐待	
2: ネグレクト	
3: 性的虐待	
4: 心理的虐待	

3-3. 虐待の種類ごとの虐待状況の長さ（3-2で選択した虐待の種類のみ）

1: 身体的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
2: ネグレクト	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
3: 性的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
4: 心理的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	

3-4. Aさんへの心身へのダメージの大きさ（3-2で選択した虐待の種類のみ）

	1	2	3	4	5
	小さい----->大きい				
1: 身体的虐待					
2: ネグレクト					
3: 性的虐待					
4: 心理的虐待					

4. Aさんの医学的な診断状況について当てはまるものを選択してください。

4-1. 医師による医学的診断の有無（疑いを含む）

1: あり	
2: なし	

「1: あり」を選択された場合➡4-2へお進みください
「2: なし」を選択された場合➡5へお進みください

4-2. 医学的診断の種類（複数回答可）

1: 身体虚弱		11: 学習障害（LD）	
2: 肢体不自由		12: 自閉スペクトラム障害（ASD）	
3: 視覚障害		13: 高次脳機能障害	
4: 聴覚障害		14: チック	
5: 言語障害		15: 吃音症	
6: 知的障害		16: 発達性協調運動障害	
7: てんかん		17: その他	
8: 心的外傷後ストレス障害（PTSD）			
9: 反応性着着障害		↓「17: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。	
10: 注意欠陥多動性障害（ADHD）			

5. Aさんが受けた知能検査および発達検査について、検査実施年月と結果として当てはまる場所を選択してください。

①WISC-IV			
検査実施 年月	年	月	
全検査IQ (FSIQ)	51-60		
	61-70		
	71-80		
	81-90		
	91-100		
	101-110		
	111-120		
	121-130		
言語理解 (VCI)	51-60	注意記憶 (WMI)	51-60
	61-70		61-70
	71-80		71-80
	81-90		81-90
	91-100		91-100
	101-110		101-110
	111-120		111-120
	121-130		121-130
知覚推理 (PRI)	51-60	処理速度 (PSI)	51-60
	61-70		61-70
	71-80		71-80
	81-90		81-90
	91-100		91-100
	101-110		101-110
	111-120		111-120
	121-130		121-130

②田中ビネー知能検査V			
検査実施 年月	年	月	
IQ値	51-60		
	61-70		
	71-80		
	81-90		
	91-100		
	101-110		
	111-120		

③新版K式発達検査			
検査実施 年月	年	月	
発達指数	41-50		
	51-60		
	61-70		
	71-80		
	81-90		
	91-100		
	101-110		

	121-130	

	111-120	
	121-130	

6. Aさんと里親が定期的に支援を受けていた機関があれば選択してください。（複数回答可）

Aさん	
1: 子ども家庭総合支援拠点	
2: 教育相談機関（教育相談所等）	
3: 公立教育センター	
4: 児童精神科	
5: 小児科	
6: 児童発達支援事業所	
7: 放課後等デイサービス	
8: 児童発達支援センター	
9: 学校のスクールカウンセラー・ソーシャルワーカー	
10: フォスタリング機関	
11: その他	
↓「11: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

里親	
1: 子ども家庭総合支援拠点	
2: 教育相談機関（教育相談所等）	
3: 公立教育センター	
4: 児童精神科	
5: 小児科	
6: 児童発達支援事業所	
7: 放課後等デイサービス	
8: 児童発達支援センター	
9: 学校のスクールカウンセラー・ソーシャルワーカー	
10: フォスタリング機関	
11: その他	
↓「11: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

7. 委託解除の理由について、当てはまるものを1つ選択してください。

1: 里親や里親家族の急な事情（病気、介護、転勤、離婚）による委託解除	
2: 里親との関係不調により委託解除	
3: 被措置児童等虐待による委託解除	
4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり委託解除	
5: その他	
↓「5: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

「4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり委託解除」を選択した場合は、以下の行動上の問題の種類であてはまるものを選択してください。（複数回答可）

1: 試し行動		6: 暴力・破壊		11: 性的問題行動	
2: 深夜徘徊・家に戻ってこない		7: 学校への不応答・不登校		12: 反抗・暴言	
3: アタッチメントの問題		8: 情緒不安定		13: 嘘をつく	
4: 情緒不安定傾向		9: 自閉スペクトラム症傾向		14: 多動性・不注意傾向	
5: 知的発達遅れ・学習の問題		10: 虐待行為・触法行為		15: その他	
↓「15: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。					

8. 措置変更先の施設等として当てはまるものを1つ選択してください。

1: 乳児院	
2: 児童養護施設	
3: 児童自立支援施設	
4: 自立援助ホーム	
5: 児童心理治療施設	
6: 他の里親	
7: ファミリーホーム	

8: 家庭復帰	
---------	--

9. 養育不調への対応

9-1. 養育不調に気づいたきっかけについて当てはまるものを1つを選択、記入してください。

1: 里親からの申告			
2: 子ども本人からの申告			
3: 他の子どもからの申告・気づき			
4: 他機関からの申告		1、2、3、5、6 の場合→	気づいた経緯：
5: フォスタリング機関職員の気づき			
6: 児童相談所職員の気づき		4の場合→	機関名：
7: その他		7の場合→	具体的に：

9-2. 養育不調に気づいてから委託解除・変更までの期間で当てはまるものを1つ選択してください。

1: 即日	
2: 3日以内	
3: 4日～1週間	
4: 2～4週間	
5: 1～2ヶ月	
6: 3ヶ月～4ヶ月	
7: 5ヶ月～6ヶ月	
8: 7ヶ月～1年	
9: 2年	
10: 3年	
11: 4年以上	

9-3. 以下のうち、

できていた支援には「1」を、
できなかったが、できていれば養育不調による委託解除・変更を回避できたと思う支援には「2」を選択してください。
それ以外は空欄のままです。

1: より頻度の高い訪問支援	
2: 委託された子どもの養育のための研修	
3: 里親家庭の関係調整（実子との関係、実親との関係調整）	
4: 里親が利用できる小児科・内科・（児童）精神科などのクリニック	
5: 里親が気軽に相談できる友人・地域の人など	
6: 幼稚園・保育園・学校等の理解	
7: 再アセスメント・再出発のための一時保護による支援	
8: 児童相談所との協働	
9: 里子・里親・実親を含めての応援ミーティング*	
10: 実親と関係機関（学校や児童相談所等）を含めての応援ミーティング*	
11: 里親サロンの利用	
12: レスパイトによる支援	
13: チーム養育に関する研修	
14: その他	
↓「14: その他」で1か2を選択した場合、自由記述をお願いします。	

*応援ミーティングとは里親委託にあたり関係者で集まり、子どもを中心とした養育や里親が安心して養育を行える環境づくりのために行う。

9-4. 9-3で「2」と選択した項目について、なぜ、そのような支援ができなかったと考えますか？（複数選択可）

1: 地域にそのような資源がなかった	
--------------------	--

2: 里親と信頼関係を築くことが難しかった	
3: 児童相談所の対応が困難であった	
4: フォスターリング機関の対応が困難であった	
5: 幼稚園・保育園・学校等の協力が不十分だった	
6: その他	
↓「6: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

2人目がいる場合は右へスクロール、全ての子どもについて回答が終わりましたら
次のシートにあるB票（ファミリーホーム）にご回答ください。

B票個別ケース調査（ファミリーホーム）

この質問票は、養育の不調（養育する上で困難になること）で委託解除したケースについてお答えください。

2020年度から2022年度までにファミリーホーム委託解除となったお子さんは何人ですか？

人

→この人数分のB票をご回答ください。右へスクロールすると2人目、3人目と続きます。

10人目までご用意していますが、11人以上いる場合はお手数ですが1人目の回答を始める前に、11人目以降の回答欄を追加してください。

回答欄の追加方法：

- ①1人目の回答欄である「A列からO列」までを選択してコピー
- ②11人目の回答欄にあたる「EU列」を選択してペースト
- ③「〇人目」を「11人目」に変更
- ④②～③を繰り返して人数分の回答欄を追加する

1人目

養育の不調（養育する上で対応が困難になること）によるファミリーホーム委託解除となったお子さんをAさんとして以下の質問にお答えください。

1. 委託解除時の里親委託の分類を**1つ**選択してください。

1: 養育里親	
2: 専門里親	
3: 親族里親	
4: 養子縁組里親	
5: 里親登録していない	

2. Aさん、及びその実親について以下の項目にご記入、あるいはあてはまる項目を選択してください。

2-1. 委託開始年齢		歳		ヵ月
2-2. 性別	1: 男性	2: 女性		
2-3. 委託解除時の年齢		歳		ヵ月
2-4. 国籍				
2-5. 養護問題発生理由（複数回答可）				
1: 保護者の死亡		11: 保護者の精神疾患		
2: 保護者の行方不明		12: 保護者の放任もしくは怠惰		
3: 父母の離婚		13: 父の虐待もしくは酷使		
4: 父母の未婚		14: 母の虐待もしくは酷使		
5: 父母の不和		15: 棄児		
6: 保護者の拘禁		16: 養育拒否		
7: 保護者の入院		17: 破産等の経済的理由		
8: 家族の疾病の付き添い		18: 児童の問題による監護困難		
9: 次子出産		19: 児童の障害		
10: 保護者の就労		20: その他		
		21: 不詳		

↓「20: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。

3-1. 虐待被害の有無

1: あり	
2: なし	

「1: あり」を選択された場合→3-2へお進みください
「2: なし」を選択された場合→4へお進みください

3-2. 虐待の種類（複数選択可）

1: 身体的虐待	
2: ネグレクト	
3: 性的虐待	
4: 心理的虐待	

3-3. 虐待の種類ごとの虐待状況の長さ（3-2で選択した虐待の種類のみ）

1: 身体的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
2: ネグレクト	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
3: 性的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
4: 心理的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	

3-4. Aさんへの心身へのダメージの大きさ (3-2で選択した虐待の種類のみ)

	1	2	3	4	5
	小さい----->大きい				
1: 身体的虐待					
2: ネグレクト					
3: 性的虐待					
4: 心理的虐待					

4. Aさんの医学的な診断状況について当てはまるものを選択してください。

4-1. 医師による医学的診断の有無 (疑いを含む)

1: あり	
2: なし	

「1: あり」を選択された場合⇒4-2へお進みください

「2: なし」を選択された場合⇒5へお進みください

4-2. 医学的診断の種類 (複数回答可)

1: 身体虚弱		11: 学習障害 (LD)	
2: 肢体不自由		12: 自閉スペクトラム障害 (ASD)	
3: 視覚障害		13: 高次脳機能障害	
4: 聴覚障害		14: チック	
5: 言語障害		15: 吃音症	
6: 知的障害		16: 発達性協調運動障害	
7: てんかん		17: その他	
8: 心的外傷後ストレス障害 (PTSD)			
9: 反応性愛着障害		↓「17: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	
10: 注意欠陥多動性障害 (ADHD)			

5. Aさんが受けた知能検査および発達検査について、検査実施年月と結果として当てはまるところを選択してください。

①WISC-IV					
検査実施 年月		年	月		
全検査IQ (FSIQ)	51-60				
	61-70				
	71-80				
	81-90				
	91-100				
	101-110				
	111-120				
	121-130				
言語理解 (VCI)	51-60			注意記憶 (WMI)	51-60
	61-70				61-70
	71-80				71-80
	81-90				81-90
	91-100				91-100
	101-110				101-110
	111-120				111-120
	121-130				121-130
知覚推理 (PRI)	51-60			処理速度 (PSI)	51-60
	61-70				61-70
	71-80				71-80
	81-90				81-90
	91-100				91-100
	101-110				101-110
	111-120				111-120
	121-130				121-130

②田中ビネー知能検査V				
検査実施 年月		年	月	
IQ値	51-60			
	61-70			
	71-80			
	81-90			
	91-100			
	101-110			
	111-120			

③新版K式発達検査				
検査実施 年月		年	月	
発達指数	41-50			
	51-60			
	61-70			
	71-80			
	81-90			
	91-100			
	101-110			

	121-130	

111-120	
121-130	

6. Aさんと養育者が定期的に支援を受けていた機関があれば選択してください。 （複数回答可）

Aさん		養育者	
1: 子ども家庭総合支援拠点		1: 子ども家庭総合支援拠点	
2: 教育相談機関（教育相談所等）		2: 教育相談機関（教育相談所等）	
3: 公立教育センター		3: 公立教育センター	
4: 児童精神科		4: 児童精神科	
5: 小児科		5: 小児科	
6: 児童発達支援事業所		6: 児童発達支援事業所	
7: 放課後等デイサービス		7: 放課後等デイサービス	
8: 児童発達支援センター		8: 児童発達支援センター	
9: 学校のスクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー		9: 学校のスクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー	
10: フォスタリング機関		10: フォスタリング機関	
11: その他		11: その他	
↓「11: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。		↓「11: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。	

7. 委託解除の理由について、当てはまるものを1つ選択してください。

1: ファミリーホームの養育者の急な事情（病気、介護、転勤、離婚）による委託解除	
2: ファミリーホームの養育者との関係不調により委託解除	
3: 被措置児童等虐待による委託解除	
4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり委託解除	
5: その他	
↓「5: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

「4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり委託解除」を選択した場合は、

1: 試し行動		6: 暴力・破壊		11: 性的問題行動	
2: 深夜徘徊・家に戻ってこない		7: 学校への不応・不登校		12: 反抗・暴言	
3: アタッチメントの問題		8: 情緒不安定		13: 嘘をつく	
4: 情緒不安定傾向		9: 自閉スペクトラム症傾向		14: 多動性・不注意傾向	
5: 知的発達の遅れ・学習の問題		10: 虐待行為・触法行為		15: その他	
↓「15: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。					

8. 措置変更先の施設等として当てはまるものを1つ選択してください。

1: 乳児院	
2: 児童養護施設	
3: 児童自立支援施設	
4: 自立援助ホーム	
5: 児童心理治療施設	
6: 里親	
7: 他のファミリーホーム	
8: 家庭復帰	

9. 養育不調への対応

9-1. 養育不調に気づいたきっかけについて当てはまるもの1つを選択してください。

1: 里親からの申告			
2: 子ども本人からの申告			
3: 他の子どもからの申告・気づき			
4: 他機関からの申告			
5: フォスタリング機関職員の気づき		1、2、3、5、6 の場合→	気づいた経緯：
6: 児童相談所職員の気づき		4の場合→	機関名：
7: その他		7の場合→	具体的に：

9-2. 養育不調に気づいてから委託解除・変更までの期間で当てはまるものを1つ選択してください。

1: 即日	
2: 3日以内	
3: 4日～1週間	
4: 2～4週間	
5: 1～2ヶ月	
6: 3ヶ月～4ヶ月	
7: 5ヶ月～6ヶ月	
8: 7ヶ月～1年	
9: 2年	
10: 3年	
11: 4年以上	

9-3. 以下のうち、

できていた支援には「1」を、
できなかったが、できていれば養育不調による措置変更・解除を回避できたと思う支援には「2」を選択してください。
それ以外のものは空欄のままで結算です。

1: より頻度の高い訪問支援	
2: 委託された子どもの養育のための研修	
3: ファミリーホーム家庭の関係調整（実子との関係、実親との関係調整）	
4: 養育者が利用できる小児科・内科・（児童）精神科などのクリニック	
5: 養育者が気軽に相談できる友人・地域の人など	
6: 幼稚園・保育園・学校等の理解	
7: 再アセスメント・再出発のための一時保護による支援	
8: 児童相談所との協働	
9: 委託されている子ども・ファミリーホーム養育者・実親を含めての応援ミーティング*	
10: 実親と関係機関（学校や児童相談所等）を含めての応援ミーティング*	
11: 里親サロンの利用	
12: レスパイトによる支援	
13: チーム養育に関する研修	
14: その他	
↓「14: その他」で1か2を選択した場合、自由記述をお願いします。	

*応援ミーティングとはファミリーホーム委託にあたり関係者で集まり、子どもを中心とした養育やファミリーホームの養育者が安心して養育を行える環境づくりのために行う。

9-4. 9-3で「2」と選択した項目について、なぜ、そのような支援ができなかったと考えますか？（複数選択可）

1: 地域にそのような資源がなかった	
2: ファミリーホームの養育者と信頼関係を築くことが難しかった	
3: 児童相談所の対応が困難であった	
4: フォスタリング機関の対応が困難であった	
5: 幼稚園・保育園・学校等の協力が不十分だった	
6: その他	
↓「6: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

2人目がいる場合は右へスクロール、全ての子どもについて回答が終わりましたら
次のシートにあるB票（地域小規模児童養護施設）にご回答ください。

B票個別ケース調査（地域小規模児童養護施設）

この質問票は、養育の不調（養育する上で困難になること）で措置変更・措置解除したケースについてお答えください。

2020年度から2022年度までに地域小規模児童養護施設を措置変更・措置解除となったお子さんは何人ですか？ 人
→この人数分のB票をご回答ください。右へスクロールすると2人目、3人目と続きます。

10人目までご用意していますが、11人以上いる場合はお手数ですが1人目の回答を始める前に、11人目以降の回答欄を追加してください。

回答欄の追加方法：

- ①1人目の回答欄である「A列からO列」までを選択してコピー
- ②11人目の回答欄にあたる「EU列」を選択してペースト
- ③「〇人目」を「11人目」に変更
- ④②～③を繰り返して人数分の回答欄を追加する

1人目

養育の不調（養育する上で対応が困難になること）による措置変更・措置解除となったお子さんをAさんとして以下の質問にお答えください。

1. 地域小規模児童養護施設には当てはまらない質問のため、回答不要

2. Aさん、及びその実親について以下の項目にご記入、あるいはあてはまる項目を選択してください。

2-1. 措置開始年齢	歳	ヵ月	
2-2. 性別	1:男性	2:女性	
2-3. 措置変更・措置解除時の年齢	歳	ヵ月	
2-4. 国籍			
2-5. 養護問題発生理由（複数回答可）			
1: 保護者の死亡		11: 保護者の精神疾患	
2: 保護者の行方不明		12: 保護者の放任もしくは怠惰	
3: 父母の離婚		13: 父の虐待もしくは酷使	
4: 父母の未婚		14: 母の虐待もしくは酷使	
5: 父母の不和		15: 棄児	
6: 保護者の拘禁		16: 養育拒否	
7: 保護者の入院		17: 破産等の経済的理由	
8: 家族の疾病の付き添い		18: 児童の問題による監護困難	
9: 次子出産		19: 児童の障害	
10: 保護者の就労		20: その他	
		21: 不詳	

。 「20: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。

3-1. 虐待被害の有無

1: あり	
2: なし	

「1: あり」を選択された場合⇒3-2へお進みください
「2: なし」を選択された場合⇒4へお進みください

3-2. 虐待の種類（複数選択可）

1: 身体的虐待	
2: ネグレクト	
3: 性的虐待	
4: 心理的虐待	

3-3. 虐待の種類ごとの虐待状況の長さ（3-2で選択した虐待の種類のみ）

1: 身体的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
2: ネグレクト	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
3: 性的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
4: 心理的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	

3-4. Aさんへの心身へのダメージの大きさ（3-2で選択した虐待の種類のみ）

	1	2	3	4	5
	小さい----->大きい				
1: 身体的虐待					
2: ネグレクト					

3: 性的虐待	
4: 心理的虐待	

4. Aさんの医学的な診断状況について当てはまるものを選択してください。

4-1.	医師による医学的診断の有無（疑いを含む）		
1: あり		「1: あり」を選択された場合⇒4-2へお進みください	
2: なし		「2: なし」を選択された場合⇒5へお進みください	

4-2. 医学的診断の種類（複数回答可）

1: 身体虚弱		11: 学習障害（LD）	
2: 肢体不自由		12: 自閉スペクトラム障害（ASD）	
3: 視覚障害		13: 高次脳機能障害	
4: 聴覚障害		14: チック	
5: 言語障害		15: 吃音症	
6: 知的障害		16: 発達性協調運動障害	
7: てんかん		17: その他	
8: 心的外傷後ストレス障害（PTSD）			
9: 反応性愛着障害		↓「17: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。	
10: 注意欠陥多動性障害（ADHD）			

5. Aさんが受けた知能検査および発達検査について、検査実施年月と結果として当てはまる場所を選択してください。

①WISC-IV				
検査実施 年月	年	月		
全検査IQ (FSIQ)	51-60			
	61-70			
	71-80			
	81-90			
	91-100			
	101-110			
	111-120			
	121-130			
言語理解 (VCI)	51-60		注意記憶 (WMI)	51-60
	61-70			61-70
	71-80			71-80
	81-90			81-90
	91-100			91-100
	101-110			101-110
	111-120			111-120
	121-130			121-130
知覚推理 (PRI)	51-60		処理速度 (PSI)	51-60
	61-70			61-70
	71-80			71-80
	81-90			81-90
	91-100			91-100
	101-110			101-110
	111-120			111-120
	121-130			121-130

②田中ビネー知能検査V			
検査実施 年月	年	月	
IQ値	51-60		
	61-70		
	71-80		
	81-90		
	91-100		
	101-110		
	111-120		
	121-130		

③新版K式発達検査			
検査実施 年月	年	月	
発達指数	41-50		
	51-60		
	61-70		
	71-80		
	81-90		
	91-100		
	101-110		
	111-120		
	121-130		

6. Aさんと職員の方が定期的に支援を受けていた機関があれば選択してください。（複数回答可）

Aさん		職員	
1: 子ども家庭総合支援拠点		1: 子ども家庭総合支援拠点	
2: 教育相談機関（教育相談所等）		2: 教育相談機関（教育相談所等）	
3: 公立教育センター		3: 公立教育センター	
4: 児童精神科		4: 児童精神科	
5: 小児科		5: 小児科	
6: 児童発達支援事業所		6: 児童発達支援事業所	
7: 放課後等デイサービス		7: 放課後等デイサービス	
8: 児童発達支援センター		8: 児童発達支援センター	
9: 学校のスクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー		9: 学校のスクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー	
10: その他		10: その他	
↓「10: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。		↓「10: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。	

7. 措置変更・措置解除の理由について、当てはまるもの1つを選択してください。

1: 職員の急な事情（退職や移動）による措置変更・措置解除	
2: 職員との関係不調による措置変更・措置解除	
3: 被措置児童等虐待による措置変更・措置解除	
4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり措置変更・措置解除	
5: その他	
↓「5: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

「4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり措置変更・措置解除」を選択した場合は 以下の行動上の問題の種類で当てはまるものを選択してください。（複数回答可）					
1: 試し行動		6: 暴力・破壊		11: 性的問題行動	
2: 深夜徘徊・家に戻ってこない		7: 学校への不適応・不登校		12: 反抗・暴言	
3: アタッチメントの問題		8: 情緒不安定		13: 嘘をつく	
4: 情緒不安定傾向		9: 自閉スペクトラム症傾向		14: 多動性・不注意傾向	
5: 知的発達の遅れ・学習の問題		10: 虞犯行為・触法行為		15: その他	
					↓「15: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。

8. 措置変更先の施設等として当てはまるものを1つ選択してください。

1: 他の児童養護施設	
2: 児童自立支援施設	
3: 自立援助ホーム	
4: 児童心理治療施設	
5: 里親	
6: ファミリーホーム	
7: 家庭復帰	

9. 養育不調への対応

9-1. 養育不調に気づいたきっかけについて当てはまるもの1つを選択してください。

1: 里親からの申告				
2: 子ども本人からの申告				
3: 他の子どもからの申告・気づき				
4: 他機関からの申告		1、2、3、5、6 の場合→	気づいた経緯：	
5: フォスターリング機関職員の気づき				
6: 児童相談所職員の気づき		4の場合→	機関名：	
7: その他		7の場合→	具体的に：	

9-2. 養育不調に気づいてから措置変更・措置解除までの期間で当てはまるものを1つ選択してください。

1: 即日	
2: 3日以内	
3: 4日～1週間	
4: 2～4週間	
5: 1～2ヶ月	
6: 3ヶ月～4ヶ月	
7: 5ヶ月～6ヶ月	
8: 7ヶ月～1年	
9: 2年	
10: 3年	
11: 4年以上	

9-3. 以下のうち、

できていた支援には「1」を、
できなかったが、できていれば養育不調による措置変更・解除を回避できたと思う支援には「2」を選択してください。
それ以外のものは空欄のままです。

1: より頻度の高い訪問支援	
2: 措置された子どもの養育のための研修	
3: 地域小規模児童養護施設内の関係調整 (その他の子どもとの関係・実親との関係調整)	
4: 職員が利用できる小児科・内科・(児童)精神科などのクリニック	
5: 職員が気軽に相談できる地域の人など	
6: 幼稚園・保育園・学校等の理解	
7: 再アセスメント・再出発のための一時保護による支援	
8: 児童相談所との協働	
9: 施設・実親を含めての応援ミーティング*	
10: 実親と関係機関(学校や児童相談所等)を含めての応援ミーティング*	
11: 本体施設からの支援	
12: その他	
↓「12: その他」を1か2を選択した場合、自由記述をお願いします。	

*応援ミーティングとは措置にあたり関係者で集まり、子どもを中心とした養育を行える環境づくりのために行う。

9-4. 9-3で「2」と選択した項目について、なぜ、そのような支援ができなかったと考えますか？(複数選択可)

1: 地域にそのような資源がなかった	
2: 地域小規模児童養護施設の職員と信頼関係を築くことが難しかった	
3: 児童相談所の対応が困難であった	
4: 幼稚園・保育園・学校等の協力が不十分だった	

5: その他	
↓ 「5: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

2人目がいる場合は右へスクロール、全ての子どもについて回答が終わりましたら
これで全ての調査が終了です。
お忙しい中ご協力誠にありがとうございました。
期日までにseiiku-research@ncchd.go.jpへご送付ください。

養育不調の要因を検討するためのフォスタリング機関へのアンケート

こども家庭庁
令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

ご記入の注意点

- 本調査は全国のフォスタリング機関の支援と里親養育不調（里親が委託・措置された子どもへの対応が困難になること）による委託・措置解除の状況を調べるためのものです。
- 本調査票は3つのシートに分かれています。エクセルウィンドウ下部のタブをご確認ください。
- A票はすべてのフォスタリング機関で2020年4月1日から2023年3月31日までの間に里親に委託された子ども達への全体の支援状況について記入いただく調査票です。その間に里親家庭や委託されている子どもへの支援を行った事例の中で、委託が継続している子どもと、養育の不調により委託が解除となった子どもについて回答いただきます。
- B票はフォスタリング機関が支援を行った事例の中で、2018年4月1日から2023年3月31日までの間に養育の不調により委託解除となった子どもに関する個別事例について記入いただく調査票です。
- 里親家庭や委託されている子どもへの相談業務を行っていないフォスタリング機関は、恐れ入りますがフェイスシートのみ（本紙）ご回答ください。
- お忙しいところ恐縮ですが、2024年3月15日までに、お答えいただいた本ファイルをseiiku-research@ncchd.go.jpまでご送付ください。
- 本調査は、令和5年度こども家庭科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業・課題名『児童養護施設等や里親家庭における養育の不調の要因分析に資する研究』にて行っております。その他、本データは社会的養育に関する子どもの最善の利益を検討するための研究に関して使用される場合があります。
- お答えいただく箇所は、セルを色付けしています。

緑色のセル	：数字や文字を直接入力する回答です。間違えないよう、セルへ直接打ち込んでください。
青色のセル	：選択式の回答です。当てはまるものをプルダウンからご選択ください。間違えた場合は、deleteキーで消すことができます。

同意説明文書をお読みの上、本調査へご協力いただける場合は
下記のチェックボックスにチェックして下さい。↓

同意説明文書を読み、この研究に参加することに同意いたします。 ☐

回答日： 年 月 日

1. 回答者のご所属されているフォスタリング機関について

- 1: 自治体（児童相談所内） ☐
- 2: 民間フォスタリング機関 ☐

→「2：民間フォスタリング機関」を選択された場合

フォスタリング業務を受託した時期 年 月

2. フォスタリング機関への勤務期間 年 ヵ月

3. 回答者の職種をお答えください

4. 里親家庭や委託されている子どもへの相談業務を行っている。

- 1: はい 2: いいえ ☐

「いいえ」の場合、A票、B票の回答の必要はありません。

5. フォスタリング業務を担う職員（里親担当者や里親委託等推進員に該当する職員）について

- 1: 専従 2: 兼務 ☐

兼務の場合、その他の業務は何ですか？

6. フォスタリング機関の業務について当てはまる業務をご回答ください（複数回答可）

1: 普及促進・リクルート事業	受託開始時期	年	月
2: 里親研修・トレーニング事業	受託開始時期	年	月
3: 里親委託推進等事業	受託開始時期	年	月
4: 里親訪問等支援事業	受託開始時期	年	月
5: 里親等委託児童自立支援事業	受託開始時期	年	月
6: 共働き家庭里親委託促進事業	受託開始時期	年	月
7: 障害児里親等委託促進モデル事業	受託開始時期	年	月
8: 里親等委託推進提案型事業	受託開始時期	年	月

次のシートA票からご回答にお進みください。

A票

I

左側のコラムは

フォスタリング機関が支援していた里親委託継続ケースについてお答えください。また、入力は半角数字で行ってください。

1-1.養育里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-2.専門里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						

II

右側のコラムは

フォスタリング機関が支援していたものの養育不調（養育をする上で対応が困難）による里親委託解除となったケースについてお答えください。また、入力は半角数字で行ってください。

1-1.養育里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-2.専門里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						

養育不調による委託解除ケース

付録 5

16歳						
17歳						
18歳以上						

1-3.親族里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-4.養子縁組里親への委託 男女・年齢別の委託継続件数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

16歳						
17歳						
18歳以上						

1-3.親族里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

1-4.養子縁組里親への委託 男女・年齢別の不調による委託解除件数

委託解除時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

2. きょうだいの有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり（里親宅で1人以上同居）			
あり（里親宅同居なし）			
なし			

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 委託期間別件数

3月末時点での期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						
2年以上～3年未満						
3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

7. 委託時の年齢

（それぞれの年度で委託継続されている子どもの委託時の年齢別件数）

委託時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						

養育不調による委託解除ケース

	2020年度	2021年度	2022年度
あり（里親宅で1人以上同居）			
あり（里親宅同居なし）			
なし			

3. 子どもの虐待の有無別件数

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
あり						
なし						

4. 委託期間別件数

委託解除時までの期間	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
1か月未満						
1か月以上～3か月未満						
3か月以上～6か月未満						
6か月以上～1年未満						
1年以上～2年未満						
2年以上～3年未満						
3年以上～4年未満						
4年以上～5年未満						
5年以上～10年未満						
10年以上～15年未満						
15年以上						

5. 委託された家庭での同居の実子の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

6. 委託された家庭でのその他の同居人の有無別件数

	2020年度	2021年度	2022年度
あり			
なし			

7. 委託時の年齢

（それぞれの年度で委託解除された子どもの、委託時の年齢別件数）

委託時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						

10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

8.過去に家庭復帰ケースになったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、現在里親家庭に在籍している子どもの数

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

9.現委託先への委託以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在の里親委託は措置に含まれない）

3月末時点での年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						

10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

8.過去に家庭復帰ケースとなったものの、再び家庭などで問題が起きたために代替ケアが必要となり、当該里親に委託されたが、養育の不調により委託解除となった子どもの数

里親委託解除 となった時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						
15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

9.現委託先への委託以前に措置変更されたことのある子どもの人数（現在の里親委託は措置に含まれない）

里親委託解除 となった時の年齢	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
0歳						
1歳						
2歳						
3歳						
4歳						
5歳						
6歳						
7歳						
8歳						
9歳						
10歳						
11歳						
12歳						
13歳						
14歳						

養育不調による委託解除ケース
委託継続ケース

付録5

15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

10. 連携している機関につなげた(ている)人数

	2020年度		2021年度		2022年度	
子ども家庭総合支援拠点						
教育相談機関 (教育相談所等)						
公立教育センター						
児童精神科						
小児科						
児童発達支援事業所						
放課後等ディサービス						
児童発達支援センター						
児童相談所						
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー						
その他						

11. 委託されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

15歳						
16歳						
17歳						
18歳以上						

10. 連携している機関につなげた(ている)人数

	2020年度		2021年度		2022年度	
子ども家庭総合支援拠点						
教育相談機関 (教育相談所等)						
公立教育センター						
児童精神科						
小児科						
児童発達支援事業所						
放課後等ディサービス						
児童発達支援センター						
児童相談所						
スクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー						
その他						

11. 委託されている子どもと実親との交流

	2020年度		2021年度		2022年度	
	男	女	男	女	男	女
実親との交流なし						
電話・手紙・メール・SNS のみの交流						
面会あり・外泊あり						
面会あり・外泊なし						
その他						

A票は終了です。

次のシートにあるB票にご回答ください。

B票個別ケース調査

この質問票は、養育の不調（養育する上で困難になること）で委託解除したケースについてお答えください。

2018年度から2022年度までに里親委託解除となったお子さんは何人ですか？

※A票とは指定の期間が違いますのでご注意ください。

 人

→この人数分のB票をご回答ください。右へスクロールすると2人目、3人目と続きます。

10人目までご用意していますが、11人以上いる場合はお手数ですが1人目の回答を始める前に、11人目以降の回答欄を追加してください。

回答欄の追加方法：

- ①1人目の回答欄である「A列からO列」までを選択してコピー
- ②11人目の回答欄にあたる「EU列」を選択してペースト
- ③O人目を11人目に変更
- ④②～③を繰り返して人数分の回答欄を追加する

1人目

養育の不調（養育する上で対応が困難になること）による里親委託解除となったお子さんをAさんとして以下の質問にお答えください。

1. 不調による委託解除時の里親委託の分類を**1つ**選択してください。

1: 養育里親	
2: 専門里親	
3: 親族里親	
4: 養子縁組里親	

2. Aさん、及びその実親について以下の項目にご記入、あるいはあてはまる項目を選択してください。

2-1. 委託開始年齢		歳		ヵ月
2-2. 性別	1: 男性	2: 女性		
2-3. 委託解除時の年齢		歳		ヵ月
2-4. 国籍				
2-5. 無諍問題発生理由（複数回答可）				

1: 保護者の死亡		11: 保護者の精神疾患	
2: 保護者の行方不明		12: 保護者の放任もしくは怠惰	
3: 父母の離婚		13: 父の虐待もしくは酷使	
4: 父母の未婚		14: 母の虐待もしくは酷使	
5: 父母の不和		15: 棄児	
6: 保護者の拘禁		16: 養育拒否	
7: 保護者の入院		17: 破産等の経済的理由	
8: 家族の疾病の付き添い		18: 児童の問題による監護困難	
9: 次子出産		19: 児童の障害	
10: 保護者の就労		20: その他	
		21: 不詳	

↓「20: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。

3. Aさんの過去の虐待被害について当てはまるものを選択してください。

3-1. 虐待被害の有無

1: あり	
2: なし	

「1: あり」を選択された場合⇒3-2へお進みください

「2: なし」を選択された場合⇒4へお進みください

3-2. 虐待の種類（複数選択可）

1: 身体的虐待	
2: ネグレクト	
3: 性的虐待	

4: 心理的虐待	
----------	--

3-3. 虐待の種類ごとの虐待状況の長さ (3-2で選択した虐待の種類のみ)

1: 身体的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
2: ネグレクト	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
3: 性的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	
4: 心地的虐待	1年未満		1年～3年		4年～5年		6年以上	

3-4. Aさんへの心身へのダメージの大きさ (3-2で選択した虐待の種類のみ)

	1	2	3	4	5
	小さい----->大きい				
1: 身体的虐待					
2: ネグレクト					
3: 性的虐待					
4: 心地的虐待					

4. Aさんの医学的な診断状況について当てはまるものを選択してください。

4-1. 医師による医学的診断の有無（疑いを含む）

1: あり	
2: なし	

「1: あり」を選択された場合⇒4-2へお進みください
「2: なし」を選択された場合⇒5へお進みください

4-2. 医学的診断の種類（複数回答可）

1: 身体虚弱		11: 学習障害（LD）	
2: 肢体不自由		12: 自閉スペクトラム障害（ASD）	
3: 視覚障害		13: 高次脳機能障害	
4: 聴覚障害		14: チック	
5: 言語障害		15: 吃音症	
6: 知的障害		16: 発達性協調運動障害	
7: てんかん		17: その他	
8: 心的外傷後ストレス障害（PTSD）			
9: 反応性愛着障害		。 「17: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。	
10: 注意欠陥多動性障害（ADHD）			

5. Aさんが受けた知能検査および発達検査について、検査実施年月と結果について当てはまる場所を選択してください。

①WISC-IV			
検査実施 年月	年	月	
全検査IQ (FSIQ)	51-60		
	61-70		
	71-80		
	81-90		
	91-100		
	101-110		
	111-120		
	121-130		
言語理解 (VCI)	51-60		51-60
	61-70		61-70
	71-80		71-80
	81-90		81-90
	91-100		91-100
	101-110		101-110
	111-120		111-120
	121-130		121-130
知覚推理 (PRI)	51-60		51-60
	61-70		61-70
	71-80		71-80
	81-90		81-90
	91-100		91-100
	101-110		101-110
	111-120		111-120
	121-130		121-130

②田中ビネー知能検査V

③新版K式発達検査

検査実施 年月	年	月
IQ値	51-60	
	61-70	
	71-80	
	81-90	
	91-100	
	101-110	
	111-120	
	121-130	

検査実施 年月		年		月
発達指数	41-50			
	51-60			
	61-70			
	71-80			
	81-90			
	91-100			
	101-110			
	111-120			
121-130				

6. Aさんと里親が定期的に支援を受けていた機関があれば選択してください。（複数回答可）

Aさん	
1: 子ども家庭総合支援拠点	
2: 教育相談機関（教育相談所等）	
3: 公立教育センター	
4: 児童精神科	
5: 小児科	
6: 児童発達支援事業所	
7: 放課後等デイサービス	
8: 児童発達支援センター	
9: 学校のスクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー	
10: 児童相談所	
11: その他	
↓「11: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。	

里親	
1: 子ども家庭総合支援拠点	
2: 教育相談機関（教育相談所等）	
3: 公立教育センター	
4: 児童精神科	
5: 小児科	
6: 児童発達支援事業所	
7: 放課後等デイサービス	
8: 児童発達支援センター	
9: 学校のスクールカウンセラー・ ソーシャルワーカー	
10: 児童相談所	
11: その他	
↓「11: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。	

7. 委託解除の理由について、当てはまるものを1つ選択してください。

1: 甲親や甲親家族の急な事情（病気、介護、転勤、離婚）による委託解除	
2: 里親との関係不調により委託解除	
3: 被措置児童等虐待による委託解除	
4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり委託解除	
5: その他	

↓「5: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。

「4: 子どもの行動上の問題への対応が困難となり委託解除」を選択した場合は、 以下の行動上の問題の種類で当てはまるものを選択してください。（複数回答可）					
1: 試し行動		6: 暴力・破壊		11: 性的問題行動	
2: 深夜徘徊・家に戻ってこない		7: 学校への不適応・不登校		12: 反抗・暴言	
3: アタッチメントの問題		8: 情緒不安定		13: 嘘をつく	
4: 情緒不安定傾向		9: 自閉スペクトラム症傾向		14: 多動性・不注意傾向	
5: 知的発達の遅れ・学習の問題		10: 虐待行為・触法行為		15: その他	
↓「15: その他」を選択した場合は 自由記述をお願いします。					

8. 措置変更先の施設等として当てはまるものを1つ選択してください。

1: 乳児院

2: 児童養護施設	
3: 児童自立支援施設	
4: 自立援助ホーム	
5: 児童心理治療施設	
6: 他の里親	
7: ファミリーホーム	
8: 家庭復帰	

9. 養育不調への対応

9-1. 養育不調に気づいたきっかけについて当てはまるものを**1つ**を選択、記入してください。

1: 里親からの申告				
2: 子ども本人からの申告				
3: 他の子どもからの申告・気づき				
4: 他機関からの申告		1、2、3、5、6 の場合→	気づいた経緯:	
5: フォスターリング機関職員の気づき				
6: 児童相談所職員の気づき		4の場合→	機関名:	
7: その他		7の場合→	具体的に:	

9-2. 養育不調に気づいてから委託解除・変更までの期間で当てはまるものを**1つ**選択してください。

1: 即日	
2: 3日以内	
3: 4日～1週間	
4: 2～4週間	
5: 1～2ヶ月	
6: 3ヶ月～4ヶ月	
7: 5ヶ月～6ヶ月	
8: 7ヶ月～1年	
9: 2年	
10: 3年	
11: 4年以上	

9-3. 以下のうち、

できていた支援には「**1**」を、

できなかったが、できていれば養育不調による委託解除・変更を回避できたと思う支援には「**2**」を選択してください。

それ以外のものは**空欄のまま**で結構です。

1: より頻度の高い訪問支援	
2: 委託された子どもの養育のための研修	
3: 里親家庭の関係調整（実子との関係、実親との関係調整）	
4: 里親が利用できる小児科・内科・（児童）精神科などのクリニック	
5: 里親が気軽に相談できる友人・地域の人など	
6: 幼稚園・保育園・学校等の理解	
7: 再アセスメント・再出発のための一時保護による支援	
8: 児童相談所との協働	
9: 里子・里親・実親を含めての応援ミーティング*	
10: 実親と関係機関（学校や児童相談所等）を含めての応援ミーティング*	
11: 里親サロンの利用	
12: レスパイトによる支援	
13: チーム養育に関する研修	
14: その他	

↓「14: その他」で1か2を選択した場合、自由記述をお願いします。

--

*応援ミーティングとは里親委託にあたり関係者で集まり、子どもを中心とした養育や里親が安心して養育を行える環境づくりのために行う。

付録 5

9-4. 9-3で「2」と選択した項目について、なぜ、そのような支援ができなかったと考えますか？（複数選択可）

1: 地域にそのような資源がなかった	
2: 里親と信頼関係を築くことが難しかった	
3: 児童相談所の対応が困難であった	
4: フォスターリング機関の対応が困難であった	
5: 幼稚園・保育園・学校等の協力が不十分だった	
6: その他	
↓「6: その他」を選択した場合は自由記述をお願いします。	

2人目がいる場合は右へスクロールしてください。

全ての子どもについて回答を終えた場合は調査終了です。

お忙しい中ご協力誠にありがとうございました。

期日までにseiiku-research@ncchd.go.jpにご送付ください。